



有恒 yuko

2022 October vol.24



式典で司会を務めたTBSアナウンサー若林有子さん(商令元卒)＝「ざっくばらん」で紹介

「大阪公立大学」開学特集第4弾／対談企画
辰巳砂昌弘・大阪公立大学学長
岡本直之・大阪公立大学校友会会長

OB・OG紹介／俳優・監督・前田多美さん(文博平20修)

社長さん紹介／駒井ハルテック・中村貴任さん(商昭58卒)

株式会社 Cominix

お客様の生産性向上に貢献する高度専門商社



証券コード：3173

株式会社 Cominix

代表取締役社長 柳川 重昌

工学部 応用物理学科 1969年（S.44）3月24日卒

届けたいのは、
夢、希望、
いつもの日々。

誰もが病と隣り合わせで生きている。
もしものときも、
変わらない日常がつづくように。
新薬で、すこやかな未来を届けたい。
独創的なアプローチで、
私たちは挑戦をつづけます。

Only Ono

小野にしかできない挑戦がある。

ONO 小野薬品工業株式会社

目 次

巻頭グラビア	2
大阪公立大学 開学特集 第4弾	4
「大阪公立大学始動! 新しい時代の大学と同窓会の役割」対談企画	
辰巳砂 昌弘 大阪公立大学学長	
岡本 直之 大阪公立大学校友会会長	
大阪公立大学情報	7
世界に通じるプロフェッサー 注目教授 大谷直子(がん予防研究) 橋爪紳也(都市計画学)	8
杉田菜穂(社会政策) 酒井隆史(社会思想・都市史)	
特別インタビュー「ざっくばらん」 TBSアナウンサー 若林有子	12
市大偉人列伝 高原慶一郎	14
市大出身の社長さん紹介 株式会社駒井ハルテック 中村貴任	15
大阪医史蹟巡り ⑧ウイルスと戦う人たち—海外篇— 田中祐尾	16
市大OB・OG紹介 映画『犬ころたちの唄』が大ヒット!	
俳優・映画監督 前田多美	18
民間企業に務める卒業生と現役学生との交流会／五代シンポジウム開催・シンポの報告書を刊行	19
学園だより	20
就職活動とキャリア・就職支援について／働きながら海外の大学院で学ぶ／オープンキャンパス2022／ついに新大学が開学!／国際広報室を開設～研究成果の国際発信強化に向けて～／戦没学友の碑献花の集い／男子ソフトボール部にみる市大・府大部活合併	
同窓会ニュース	23
大阪公立大学校友会設立総会開催／市大全学同窓会・有恒会定期総会開催 橋村公英・東大寺別当が記念講演／女性部会(WPC)ニュース「令和3年度総会」第9回交流会(オンライン)報告／《知と心のリレー》大阪市立大学での学び、そして大阪公立大学への期待／2022年度大阪公立大OBOG公務員と公務員志望学生交流会／「都市経営研究科・創造都市研究科同窓会」発会式開催／経友会第26回総会 3年ぶりに開催／理学部同窓会を開催／大阪公立大学商友会創設25周年記念誌『商友会に集いて』が完成!	
論壇随想	28
大阪南支部創設60周年記念植樹祭行事式典に寄せて／住まいと地域の夢をつなぐ	
同窓短信	30
青森誠治(生平14卒)／上村修三(商昭53卒)／安藤根八(創院平30修)	
支部だより	32
千葉支部／東京支部／京滋支部／大阪南支部／鹿児島支部／支部一覧表	
会員のひろば	36
宮本背広ゼミナール研究会『未来への航跡』出版記念研究会開催／杉本クラブ第6回オンライン交流会開催／注目度急上昇! 硬式野球部が「お披露目会」／八起会3年ぶり開催	
読者の声	38
田中徹也(商昭55卒)／鳥居貞義(商昭34卒)／中居拓海(商1)／高野勝行(商平13卒)	
読者の作品	40
佐藤博之(経昭37卒)／原田利明(商昭43卒)	
同窓生の図書紹介	42
追悼のこぼれ	46
事務局のお知らせ・投稿規定・編集後記	48



**大阪公立大学
開学特集**

大阪公立大学入学式・開学記念式典の最後に「みなさんのチャレンジを全力で応援します」と書かれた辰巳砂昌弘学長のメッセージボードを新入生全員が掲げ記念撮影＝2022年4月11日、大阪城ホールで



入学式に先立ちシンボルマークを披露する左から西澤良記・公立大学法人大阪理事長、辰巳砂学長、吉村洋文大阪府知事、松井一郎大阪市長



祝辞を述べる左から末松信介文部科学大臣(当時)、吉村知事、松井市長



新入生の代表と大学看板を除幕。西澤理事長⑥と辰巳砂学長＝4月1日、杉本キャンパス④と中百舌鳥キャンパスで

※写真はいずれも大阪公立大学広報課提供



大阪市立大学交響楽団と大阪府立大学交響楽団の合同記念演奏⑥

応援団による歓迎演舞⑥



映画「犬ころたちの唄」が大ヒット／前田多美監督 (OB・OG紹介・18頁)



ラストイチャダイ五代友厚シンポジウム開催 (19頁)



エンブリーリドル航空大学の学生が杉本キャンパスツアーと理学研究科訪問 (学園だより・国際交流課提供)



市大全学同窓会・有恒会定期総会開催。講演する橋村公英東大寺別当 (同窓会ニュース・23頁)

有恒Vol.24 Topics



大阪商科大学跡石碑再建立式 (同窓会ニュース・27頁)



「歴史の彩と東大寺」東大寺盧舎那仏坐像 (読者の声・38頁)



大阪南支部60周年を記念して「市大ヤマザクラ」を植樹する
左から荒川哲男学長、金村福寿支部長、岡本直之会長 (論壇随想・28頁)

大阪公立大学
開学特集
第四弾

対談企画 **大阪公立大学始動! 新しい時代の大学**

辰巳砂昌弘・大阪公立大学学長／岡本直之・大阪公立大学校友会会長

大阪市立大学と大阪府立大学の伝統ある歴史を継承する統合新大学「大阪公立大学」に大きな期待が寄せられる中、今春開学しました。一方、両大学の卒業生で構成する同窓会「大阪公立大学校友会」も今年6月に設立し両大学の同窓生同士の交流を図るとともに母校となる大阪公立大学の支援体制確立に向け動き出しました。

そこで「大阪公立大学始動! 新しい時代の大学と同窓会の役割」をテーマに、大阪公立大学の辰巳砂昌弘学長と大阪公立大学校友会の岡本直之会長に話し合っていました。

**歴史の始まりに身の引き締まる思い
素晴らしいスタートダッシュに感激**

—今春、待望の大阪公立大学が開学しました。半年たった今、それぞれのお立場での感慨、感想をお聞かせください。

辰巳砂 4月1日に各キャンパスの看板が掛け替えられ、11日には入学式や開学式典が無事終わり、ほっとしたというのが正直な感想です。3年前に大阪府立大学の学長に就任させていただき、その時は本当に統合できるかなという心境でした。特にこの2年間はコロナ禍で対面授業がほとんどできなかったことから、今春、大阪公立大学の新生が元気で登校してきた姿を見て本当にうれしい気持ちになりました。とにかく前期の授業を乗り越えられてほっとしています。140年の歴史をもった大学が統合しスタートする新しい歴史の始まりに身の引き締まる思いで開学のセレモニーに臨みました。保護者の方々には出席いただけなかったですが3000人を超える新生が集ってくれました。



「飛躍的な発展を期すため2030年を目標に大学のグランドビジョンを近く発表したい」と意気込みを語る辰巳砂学長

岡本 卒業生のひとりとして、また同窓会長としてこの大きな節目に立ち会えたことに大きな喜びを感じています。特に看板の掛け替えでもそうでしたが新生の宣誓も2人とも女性であったことが印象的で、ジェンダーにこだわらない素晴らしいスタートダッシュをされたのではないかと思います。大阪市の第7代市長だった関一さんは市大について「国立大学のコピーであってはならぬ」「大学は都市とともにあり、都市は大学とともにある」とおっしゃり、公選の初代大阪府知事であった赤間文三さんは府大について「日本一の大学を作

る」と述べられたとおり、大阪に根ざした、そして全国、世界をも視野に入れた特色のある大学を目指してほしい。

**今後は教職員同士の交流を
東京、奈良が統合モデルに**

—大学、同窓会ともキャンパス、事務所が分かれてのスタートとなりましたが、現状と課題をお聞かせください。

辰巳砂 それぞれの学部、学科で各キャンパスに分かれて授業を受けており、新生についても森之宮キャンパスができるまでは分散授業となりますが、特に問題はなくスムーズに大学運営が行われています。またクラブ活動に関してもかなり以前から調整をきており、応援団や剣道部、アメフト部などのようにすでに統合して動き出しているところもあります。やはりクラブOB、同窓生の皆さんのお力添えが大きいようです。とにかく大学祭など両大学でやってきたことを今年はできるだけ公立大学でやろうと府大、女子大、看護大が統合する前から開催していた「友好祭」も開催しました。

ただ残念なのはコロナ禍で教職員同士の交流がなかなかできないことです。一緒に懇親を楽しみ、思いを分かち合いたいと思っていますが、もうしばらく時間がかかりそうです。新大学の入試や広報の分野ではスムーズに移行し問題なく進んでいますが、4月に入って最大の難関だったのが教務や総務の分野です。やはり両大学の長い歴史の中で培われた業務の内容が全く異なることから、お互いの連携を密にし、交流を深めながら乗り越えていきたいと思っています。

と同窓会の役割



岡本 同窓会の方は、昨年7月に両大学の全学同窓会の理事8人ずつで準備理事会がスタートしました。生い立ちや歴史、校風など異なり、全くまとまる気配はなく心配していましたが、今年に入り統合の機運が高まり、6月に大阪公立大学校友会として新大学の全学同窓会が発足しました。ただ課題はそれぞれの単位同窓会、さらには全国にある支部同窓会の統合並びに設立です。たとえば東京では両大学の支部が統合に向け積極的な話し合いを始めていただいているほか、奈良では市大の支部が受け皿なり府大同窓生とともに新たな支部を設立する動きが始まっているようです。これらが都市部、地方での支部のそれぞれの統合のモデルとなることを期待しています。

単位同窓会についても支部についても統合に決まった方程式はなく、場所や地域差、温度差もあり課題も多いことからできる限り本部がバックアップしていききたいと思っています。幸い新大学になり会費の徴収方法もスムーズになったことから、新入生の同窓会加入率が大いに高まりました。それだけ同窓会活動に対する期待が高まっていると受け止め、今後も大学、学生支援、同窓生同士の交流、懇親を深めていきたいと考えています。

今秋以降にグランドビジョンを発表 最強の応援団としてバックアップ

一統合大学、統合同窓会において、規模が拡大し、質的にも深まる中、今後具体的にどのようなことに取り組んでいかれるのでしょうか。

辰巳砂 将来展望につきましては、これまで新大学として教育・研究・社会貢献・運営の4分野における行動指針である大学憲章を制定しました。さらに今後、ダイバシティ宣言やこの秋以降にはグランドビジョンを発表する予定です。まずは2030年にどういう大学でありたいかというビジョンを内外に示したい。各分野のビジョンを出し、それを実現するためのロードマップを作り、旧両大学の学生が在学中の3年間を準備期間として後の6年、すなわち2030年には大発展するように準備をしていきたい。今年はその種ま

きをしていきたいと思っています。

大阪・関西万博が開かれる2025年の完成を目指す森之宮キャンパスは、すでに実施設計に入っており、同年には新入生を迎える予定です。そしてこの森之宮キャンパスを本部とする、産学官民共創で社会課題を解決し、新しい社会を創造する「イノベーションアカデミー構想」を今年打ち出しました。同窓会の皆さんにもご協力を仰ぎながら、産業界や自治体のご支援のほか、可能であれば国からの補助金をいただきながらイノベーションエコシステムの拠点を作り、すべてのキャンパスでリビングラボという実証実験が行えるような体制を整えていきたい。



「同窓会は大学の最強、最大の応援団として大学や現役生へのスポンサーとしての役割を果たしていきたい」と強調する岡本会長

岡本 同窓会は大学の最強で最大の応援団です。大学と情報を共有し同窓生同士の旧交を温め交流、親睦を図っていく一方、大学や現役生への経済支援や就職支援など、スポンサーとしての役割を果たしていきたい。特に大学が踏み込めない分野でのバックアップをしたりアドバイザーとなり、大学が「象牙の塔」とならないように社会に向けて大学の情報発信をするなど、社会とのパイプラインとなっていききたいと思っています。

6年前、市大の開学の祖であります五代友厚の銅像を全学同窓会の手で建立させていただきましたが、それは市大の商学部同窓会「商友会」の会合の席上、杉本キャンパスに記念写真が撮れるフォトスポットがないということがきっかけでした。そこで経済学部同窓会「経友会」とともに当時



森之宮キャンパス外装デザイン＝大阪公立大学広報課提供＝

の西澤良記学長にお願いに行ったところ全学規模であれば大学もバックアップしやすく、ともに取り組みましょうということになって実現に漕ぎ着けました。除幕式には当時NHKの連続テレビ小説で五代を演じ人気を博した俳優のディーン・フジオカさんに出席いただいたことで、全国に情報発信することができました。新大学におきましてもこのような取り組みをぜひ様々な具現化したいと思っています。

学び直しの場で思いを共有 大学の東京事務所開設を!

—最後に大学は同窓会に、同窓会は大学に望むこと、期待することをお聞かせください。

辰巳 砂 私もまさに同窓会は大学にとって最大、最強の応援団と思っています。大学はこれから少子高齢化に直面する中、シニア世代やキャリアチェンジに挑む30、40代の学び直しの場となるのではないのでしょうか。特にシニア世代の方々には学んでいただくだけでなく、ほかの皆さんの学びの手助けをしていただく、そういう意味で大学との関わり



大学と同窓会の絆を深めようと互いにエールを送る辰巳砂学長④と岡本会長
=いずれも大阪公立大学中百舌鳥キャンパス学長室で



森之宮キャンパス内装デザイン=大阪公立大学広報課提供=

りを非常に強く出来ると思うし、特に同窓会の皆さんとはこういう所で思いを共有できるのではないかと考えています。実は私自身、同窓会を趣味にしており、小学校、高校、大学などのミニ同窓会を勝手に開いて楽しんでいます。大阪公立大学の同窓会ができた以上は、その卒業生は若いうちからぜひとも帰属意識をもっていただきたい。そしてそのバックには市大、府大のパワフルなOBがついている。ぜひとも両大学同窓生に溶け込み活動して欲しいと思っています。

岡本 まず学長はじめ副学長には、今しばらくはできる限り様々な同窓会の会合にぜひともご出席願いたい。同窓生の皆さんは新大学の様子や現役学生についていろいろ知りたいと思っている人が多く、お知らせいただければ同窓生の意識も高まり、大学や学生への支援への機運も高まると思います。どんな大学を目指し、その進捗度合いは、そして先生らの研究環境や研究成果はどうかなどいろいろ語ってほしいと期待しています。

またできれば、東京近郊の同窓生の拠点ともなる大阪公立大学の東京事務所の開設を検討いただければと思います。大学にとって中央官庁や大企業への窓口にもなり全国、世界に情報発信していく拠点にもなると思います。同窓会としても両大学の東京支部統合の拠点ともなります。府や市の東京にある行政機関の一角でも大学としてお借りいただければと思っています。

—ありがとうございました。

司会・文責:藤山純一(法昭51卒)

写真:大西基勝(商昭52卒)

入学式・開学式典を挙行 公立として我が国最大規模

大阪公立大学の入学式・開学式典が4月11日、大阪城ホールで行われ、学部・学域2917人、大学院1480人の計4397人が入学、公立大学としては我が国最大規模の大阪公立大学が大きな期待が寄せられる中、船出した。

入学式に先立ち辰巳砂昌弘学長による開学宣言が行われ、シンボルマークの除幕の後に末松信介文部科学大臣(当時)が「これからの時代は予測できない、解答のない時代。厳しい時代ですが、しっかり日本を背負って立っていただきたい」とエールを送れば、吉村洋文大阪府知事は10年にわたる大学統合の取り組みに感謝するとともに「新たなことに失敗を恐れずどんどん挑戦する人材に育ててもらいたい」と祝辞、松井一郎大阪市長は「世界中から優秀な研究者や学生が集う『選ばれる大学』になってほしい」と大きな期待を寄せた。

入学式は辰巳砂学長からの入学許可宣言で始まり、学域・学部代表として現代システム科学域の辻本沙良々さん、研究科代表として生活科学研究科の東瑞生さんによる入学生宣誓が行われた。



辰巳砂学長に入学生代表として宣誓する学部・学域代表と研究科代表
＝大阪城ホールで。写真は大阪公立大学広報課提供＝

辰巳砂学長は式辞で「自由を謳歌できるこの限られた時間に何をなすべきか、大学でしか出来ないことをぜひ皆さん自身で見つけてほしい」と話し、大阪市立大学交響楽団、大阪府立大学交響楽団による初の合同記念演奏が行われた。

開学記念式典では、大阪市立大学・大阪府立大学卒業生の著名人から祝辞としてビデオメッセージを上映。藤沢久美・国際社会経済研究所理事長、東博暢・日本総合研究所プリンシパル主席研究員、ロザン(吉本興業)による、「大阪公立大学とデザインする未来」をテーマとしたクロストークを展開、最後に応援団が歓迎演舞を披露し閉幕した。

高田百咲(文2)

飯田グループと公立大が 万博に共同出展館 「ただいま TADAIMA」 と言える世界を体験



飯田グループホールディングス株式会社(本社・東京都武蔵野市、兼井雅史社長)と今春開学した大阪公立大学は、2025年に開催される日本国際博覧会(大阪・関西万博)の企業・団体によるパビリオン出展参加者に国内初の試みで産学連携し、共同出展館として出展することになり、その構想概要がまとまった。

これまで大阪市立大学と飯田グループホールディングスは「人、社会、地球の健康」をテーマに、持続可能な住まい・暮らし・社会を創造する「未来型住宅」や「まちづくり」の実現に向けて、共同研究部門を設け、研究・開発を行ってきており、大阪・関西万博のメインテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」はまさに両者が目指す未来社会と一致することから、パビリオン出展に応募することになった。

パビリオンのテーマは日本独特のコミュニケーション用語「ただいま」。世界の中の「いのち」が、あたり前に「ただいま TADAIMA」といえる世界を体験、より快適で健康的な暮らしを実現するための最新技術や、カーボンニュートラルの実現に向けた、新生活エネルギーを紹介する。またライフステージやライフスタイルに応じ健康に豊かに暮らすことのできる未来の住空間「ウエルネス・スマートハウス」の展示を展開、人工光合成技術を搭載したエコハウスや二酸化炭素を活用した住宅などその最新技術を披露する。

さらに大阪市立大学と大阪府立大学の学生らを中心に構成する、2025年大阪・関西万博学生プロジェクト「Honaikude」を中心に、多様な専門性をもつ、未来社会の中心人物である学生が若者ならではの感性を活かした学生にしかできない提案を行い、「いのち輝く未来社会のデザイン」に挑戦する。

大阪公立大学執行体制(2022～23年度)

【学長】辰巳砂昌弘

【副学長(主担当)】櫻木弘之(研究戦略・国際戦略)、高橋哲也(教育戦略・情報戦略)、橋本文彦(教育・DX・計画評価)、西田正宏(基幹教育・生涯学習)、秋田成司(入試)、大塚耕司(学生・SDGs)、松井利之(高度人材育成)、池田一雄(学術研究)、藤村紀文(産学官協創・知財)、坪田 誠(国際交流)、重松孝昌(社会連携)、金澤真理(ダイバーシティ・コンプライアンス)

【特命副学長】鶴田大輔、真嶋由貴恵

※大阪府立大学・大阪市立大学(ともに学生が在学する間存続)を一体的に運営

世界に通じるプロフェッサー

大きな期待が寄せられる中、今春、大阪公立大学が開学、
いよいよ世界に通じるプロフェッサーが活躍する舞台が整った。その第三弾をお届けしたい。

日本癌学会に新風！ 研究者として女性参画をリード 肥満による肝がん促進のメカニズムを研究



大阪公立大学大学院
医学研究科病態生理学教授
大谷直子氏

日本人の死亡原因でトップはがんであり、この傾向は40年にわたって続いている。逆に言えば、がんを減らすことはさらなる長寿化や医療費の削減にも直結する。大阪公立大学大学院医学研究科病態生理学教授の大谷直子氏(59)は「肥満が腸内細菌を変化させ肝がんを促進する」という論文を2013年に科学雑誌「ネイチャー」に発表、現在も研究にいそむ日々が続いている。

理系科目が好きだったのと、父親をはじめ親戚に医師が多かったこともあり、医療系に進むことを決め、京都府立医科大学に進学した。ほとんどの学生が卒業後臨床医になる中で、学生時代から興味があった研究者としての道を歩む。大学3年生の時、生化学の講義で、当時ホットトピックスであったがん遺伝子の話を聞き「がんを分子生物学的アプローチで研究することが面白い」と感じたのが、がん研究の道へ進む発端となった。

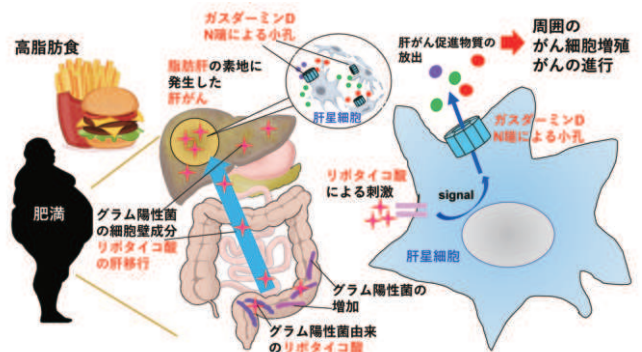
卒業後、基礎医学研究の道へ進むという意思が強い一方、患者を診たいという気持ちもあって研修医として臨床を2年経験。大学院時代にはアメリカへ1年留学したが、ちょうどその頃はがん抑制遺伝子が医療の世界でトピックスになっていた。帰国後大学院を修了して、今度はイギリスに。ここで細胞老化の研究に関わったことが後に大きく影響を与え、現在にまでつながっている。東京理科大で教授として独立し、2017年大阪市立大学(現・大阪公立大学)大学院医学研究科に移ってきた。

専門は腫瘍生物学で、がん抑制機構としての「細胞老化」に着目した研究を行い、最近では個体における細胞老化による炎症の分子メカニズムの解明に取り組んでいる。がん抑制遺伝子に興味を持ったのは、「がんにならないよう体を守ってくれる遺伝子があるのなら、それを研究するのは非常に大事なことはないか」との思いから。この分野はアメリカやヨーロッパで研究が進んでいるが、日本にも何人か国際的に活躍する研究者がいて、強い分野だ。腸肝軸に注目した研究を進め、肥満誘導性肝がんの進展を促進するがん微小環境の悪化に、腸内細菌代謝物が誘導する細胞老化と炎症が関与することを見出した。その成果

の一つとして、科学雑誌Science Immunologyに発表した論文を最近プレスリリースしている。

腸内細菌はいろいろな疾患と結びついているのに、十分に解明されていない部分が多く今後もさらに研究を進めたいと抱負を語る。「食べ物を変えることでがんを抑制でき、がん治療効果の増強につながることもわかってきた。肥満度の高い人はいくつかのがん発症のリスクが高い。がんは予防が大切ということを伝えていきたい」と意欲的だ。

2011年には約20倍の倍率を乗り越えて若手研究者の登竜門、「さきがけ」研究者に選ばれた。また17年には第1回日本癌学会女性科学者賞を受賞し、2年前には同学会初の女性理事にも選ばれ、18年には自身の研究が日本医療研究開発機構の革新的先端研究開発支援事業(AMED-CREST)にも採択された。



研究内容を表したイラスト

学生に対しては「臨床医を目指す人が多いだろうが、研究にも興味を持って欲しい。そのためにはクエスション、疑問を持つことが大切。リサーチマインドを持つ学生がどんどん増えて欲しい」とエールを送る。また大学に対しても、「大阪市大出身ではなかったのに、皆さんが大変フレンドリーで研究室の立ち上げがやり易かった。その点は大変感謝している。医学部の学舎は病院と渡り廊下でつながっており、基礎と臨床に近い距離にあり、研究しやすい環境に恵まれていた。着任後5年で良い論文を出すことができたのも、良い環境にあったからこそ。今後も基礎と臨床が協力してよい研究を発信し、大阪公立大のプレゼンスを高めたい」と目標を語る。

おおたに・なおこ:1963年兵庫県生まれ。88年京都府立医科大学卒業、同年JR大阪鉄道病院・消化器内科医員。95年京都府立大学大学院医療研究家博士課程修了、医学博士。98年12月イギリスに留学、2003年に帰国し、徳島大学ゲノム機能研究センター講師。08年1月公益財団法人がん研究会主任研究員、11年4月独立行政法人科学技術振興機構さきがけ研究者、14年4月東京理科大学理工学部教授、17年4月大阪市立大学大学院研究科分子生体医学講座病態生理学教授。22年4月から現職。

大阪を世界が憧れる街に 大阪・関西万博を機に浮上を!



大阪公立大学研究推進機構特別教授
大阪公立大学観光産業戦略研究所長
橋爪紳也氏

大阪市立大学と大阪府立大学で創造都市や都市文化施設、商業施設など総合的な研究を展開。観光政策の立案や市民参加型のまちづくり、地域ブランディングなどを幅広く実践してきた。大阪の建築研究や都市文化論の第一人者であると同時に、大阪を世界に向けて飛躍させる、まちづくりの仕掛け人が橋爪紳也氏(61)だ。近年は2025年開催の大阪・関西万博や、大阪の将来構想立案に取り組んでいる。

都市研究のきっかけは、大阪ミナミの盛り場に生まれ育ち、都心が空洞化するのを目の当たりに見てきたこと。「街は新陳代謝する。5年、10年で街のあり方も基幹となる産業も絶えず変わらないとその街は衰退する。大阪が難波宮から1400年の時を超え、都会として栄えてきたのは、絶えず外から人が集まり、学び、業を起し文化を生み出し生活してきたからだ」と強調する。

近代の大阪は産業都市として発展、内外から多くの人が集まり「東洋一の商工都市」となった。故郷である大阪をふたたび、世界の人が憧れる魅力ある街とする実践が、最大の研究テーマだ。大阪市都市計画審議会会長として御堂筋の空間再編も手がけた。オフィスビルの建て替えを促進するため、街路に面して上質な店舗を誘導、上層部にハイグレードなホテルを誘致し、かつてのオフィス街がアジア有数の魅力ある目抜き通りに転じつつある。

「水と光のまちづくり」にも取り組み、水害への備えから河川空間にアクセスができなくなっていた水辺に、北浜や中之島周辺などで、新たな賑わいと美観を生み出すべく規制緩和に尽力。大阪光のまちづくり委員長も担い、魅力ある夜景の創出も継続している。

2002年に発表した「集客都市論」が原点。人が集まらなると都市の持続的な発展はない。日本は少子高齢化の傾向にあるが、世界では人口爆発が起こり、国境を越える人が急増することを予測。国際化を推進し、インバウンドの観光客を受け入れないと、都市は生き残ることができないと警鐘を鳴らした。

そのためには物見遊山の観光客だけでなく、企業の会議などMICEのビジネス客、留学生、イベントや食事、買い物などに来る人など、さまざまなビジターを増やすこと、すなわち新たな「集客」の創造が、人口減少期における都市再生の

鍵であると強調した。

最新の研究主題は、ポスト2025年大阪・関西万博におけ

る大阪都市圏域の将来構想。大阪府・大阪市・堺市で描く、新たなランドデザインの構想を練る懇話会の座長役を担う。今、私たちは戦後復興期から高度経済成長期の人口急増期に構築した産業都市を、根幹から改める段階にある。

計画中のプロジェクトにも関与している。一例が、大阪公立大学の新キャンパスがトリガーとなる森之宮エリア、リニアや北陸新幹線などが乗り入れることを契機に抜本的に街の変革が求められる新大阪エリアなどだ。また大阪・関西万博の跡地を含むベイエリア一体も、新たな国際観光拠点として将来像を描き直す作業が求められる。



ドバイ万博で



今秋開催予定の「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪」実行委員長として海外視察。パルセロナの「オープンハウスパルセロナ」の委員長と

大阪・関西万博では、誘致案の策定に尽力、現在は大阪出展のほかテーマウィークの企画立案に関与している。また兵庫県全体をひとつのパビリオンと見立てて、会場との連携をはかるフィールドパビリオンにあっても中心的な役割を担う。

大阪・関西万博を実施することが目的になってはいけな。国際博覧会を一過性のイベントに終わらせないためにも、今後、20年、30年を視野に入れた将来像を描きつつ、万博をその端緒と位置づけなければいけない。また、大阪が国際的な祝祭気分に含まれる2025年を、子どもたちが国際感覚を育む好機としたいともいう。関西から世界に飛躍する次世代を担う人材を輩出することが万博最大のレガシーであると持論を展開する。

はしづめ・しんや:1960年大阪生まれ。都市計画学、建築史学、都市文化論専攻、工学博士。京都大学大学院工学研究科修士課程修了、大阪大学大学院工学研究科博士課程修了。2006年大阪市立大学都市研究プラザ教授、文学研究科教授。2008年大阪府立大学産学官連携機構特別教授、同大観光産業戦略研究所長。大阪府特別顧問、大阪市特別顧問、大阪市都市計画審議会会長、大阪府河川水辺にぎわいづくり審議会会長。著書は『日本の遊園地』(講談社現代新書)、『大大阪モダンイズム遊覧』(芸術新聞社)など100冊を超える。日本ディスプレイデザイン研究賞大賞、日本観光研究学会賞、日本建築学会賞など受賞。

若い世代の教育と制度改革で 産みたい時に産める社会に!



大阪公立大学大学院
経済学研究科・経済学部教授
杉田菜穂氏

少子化で人口減少が止まらない日本。この我が国の最大の課題を諸外国の事例も含め歴史的に捉え、解決の方途を示すべく研究を続けているのが杉田菜穂氏(42)だ。ジェンダー平等に敏感な若い世代への教育を通じて、「産みたい人が産みたい時に産める社会」の実現を目指す。

研究テーマは人口課題と社会政策。雇用や社会保障にも関係する課題だが、もう一つのキーワードは歴史。少子化と人口減少、長寿化は現在喫緊の課題だが、単に今起こっている現象を捉えるだけでなく、なぜそうなったのか、要因分析を含めた人口課題が最大のテーマだ。

人口減少と政策的課題へのアプローチでは、なぜこれだけ出生率が下がりきっているのか、なぜ上がらないのか。雇用における男女格差や高齢化社会の到来で財政を含む社会保障の問題に長期間、根本的な解決に着手してこなかった政策過程を諸外国の事例も含めてあぶり出す作業を進めている。

そうすることによって雇用や社会保障を属性などによって考えるのではなく、ダイバーシティに基づく制度設計へと社会の考え方を改革していく必要性を歴史からひもとき、学問的に検証していく研究だ。

少子化が進んだ要因は、女性の労働力率が結婚、出産のため一旦低下するM字カーブがその一つと指摘されているが、介護も含めて家族的責任を負うことが働き続けることのトレードオフとなり、あまりにもコストが大きいからだという。「それは制度を作っている人がほとんど男性で高学歴。偏った階層の人が自分たちの家族のあり方で現実と乖離した議論をしているからだ」と手厳しい。

ただ、男性の意識も近年高まってきているとみる。育児休業制度の取得についても内実は積極的でないにしても男性の育児率は微増しており、「男性が育児取るなんてあり得ない社会」から「育児・介護休業法」も改正されたこともあり、イクメン社員やイクメン教員がロールモデルになっ

て社会が変わっていくかも知れないと期待を寄せる。

さらに「産みたいのに産めない人の制約をどう下げるのか、産むと決めた女性の負担を分散させることが重要」と強調する。社会政策として制度の充実やさまざまな支援、男性の育児取得など社会のあり様も変えていく必要があるという。

そのキーワードはアンコンシャス・バイアス。無意識の偏見。気がついたらお茶くみは女性、男性は企業戦士。男らしさ女らしさを共有する偏見雰囲気、思い込み。無意識に染みついた規範からなかなか抜け出せないが語り合うことも大切という。政治上のジェンダーギャップについても、候補者となる女性が少ない。「解決法は女性を抜擢するしかない。そして女性が女性を応援していくことが大事だ」と語る。

最大の改革法は教育を変えること。「中高生ら若い世代



三和建設株式会社と杉田ゼミの協働によるワークショップで

は男女格差とは切り離してジェンダーを指摘する敏感さを持っている。そういった頭が柔軟な時の教育でジェンダーセンシティブな感性を持った人たちが育てば、今の社会は大きく変わる」という。「私たちの世代が若い世代のいうことを聞かざるを得ないようにすることが大切だ」とも。

今の研究テーマにしたのは、大学入学した1999年に男女共同参画社会基本法が制定されたことがきっかけ。少子化を卒業研究に選んだ。今になって行政の審議会などにおける女性の比率は上がってきているが、それがどこまで具体的な政策になっているかはまだまだ疑問。行政でも政治でも大胆な女性の登用が社会を変えると強調する。

一方、俳人としての顔も。子どもの時から母が俳句をやっていたことから習い始め、俳人として歩き出したのは30歳から。「気がついたら一緒に歩んできた、私そのもの。仕事と俳句は両輪。公立大学になって規模が大きくなり引き続き研究の社会還元、国際化を目指したい」と目を輝かす。「正論を貫き通す涼しさよ」(『句集 夏帽子』角川学芸出版、2010年)。



ワークショップの研究発表で訪れたマンチェスター大学で

すぎた・なほ:1980年奈良生まれ。専門は社会政策。2009年、大阪市立大学大学院経済学研究科後期博士課程修了・博士(経済学)。同志社大学政策学部講師、大阪市立大学大学院経済学研究科准教授・教授などを経て、2022年4月から現職。著書に『人口・家族・生命と社会政策』(法律文化社、2010年)、『人口論入門』(法律文化社、2017年)など。俳人協会会員、日本文藝家協会会員。

「どうでもいい仕事」が増殖！ 求められる視野や価値観の転換



大阪公立大学大学院
現代システム科学研究科・
現代システム科学専攻教授
酒井隆史氏

一昨年、米国の人類学者デヴィッド・グレーバーの著書『ブルシット・ジョブ クソどうでもいい仕事の論理』を翻訳し、メディアの取材など反響が相次ぎ、昨年末、解説書『ブルシット・ジョブの謎 クソどうでもいい仕事が増えるのか』を出版、「労働とは何か」を問い直したのが酒井隆史氏(57)だ。

専門は社会思想、都市史。権力や支配のあり方を軸に据えながら現代世界を読み解くと同時に、誰かを支配することとか、権力を行使することを人類はどのように考えてきたのかということが、自身の研究テーマの一つだ。

今の世界は大きく変わりつつあるという。その中核には資本主義というシステムの変容がかかわっており、それを権力という視点から今の資本主義の主要なイデオロギーとしてのネオリベラリズム、新自由主義といわれるような思想体系が、現実それがどのように作用しているかということの研究してきた。

そのような中で、支配や権力の有り様が一番明確になるところがそれらに対する抵抗がある場所、反対がある場所だという。この支配と抵抗の接点に関心があり、その分野で新しい世代の研究者として頭角を現してきたのが、デヴィッド・グレーバーだという。



1990年代から世界的に広がっていった資本主義への抵抗運動、今でいうグローバル・ジャスティス運動の中から表われてきた、現代世界から遠く人類史までめぐるめく世界を露わにしてくれるスケールの大きな研究者。現代社会では合理化の名の下に無駄を減らし雇用が不安定化している現状においてグレーバーは、当事者も薄々感じているにもかかわらず、むしろどうでもいい、何の意味もない、世界に何の貢献もしない仕事「ブルシットジョブ」が増殖していると警鐘を鳴らす。

「ここから労働とは何かを
考え直し、私たちが生きがい
や価値を持って働くとはどう
いうことなのかを、妥協せず人類史的に広い視野から捉え
直し、大きな視野の転換、価値観の変更がいま求められて
いるのではないか。そうすることで次の世界のあり方を予
見出来るのではないか」と強調する。

そしてもう一つの研究が都市に関するもので、大阪をフィールドとして10年前に大阪・新世界周辺の都市史を描いた『通天閣一新・日本資本主義発達史』でサントリー学芸賞を受賞した。

もともと音楽が好きでとりわけブラックミュージック、アフリカ系でリズム・アンド・ブルースやヒップポップが好み。その背景としてある都市やそこに根付く文化の変容について感心があり、そんな時にたまたま2001年に大阪女子大学に職を得て四天王寺に住んだことがきっかけで天王寺公園や飛田新地などを毎日散策することになったという。

当時の大阪の驚くべき多様性、民衆の自力、得体の知れない世界があちこちに広がり謎めき、それが魅力的でそれらを積み重ねてオマージュとして書いたのが『通天閣・・・』という本だ。このような混濁とした場所はどんどん排除されていこうという思いで書いた。自身は熊本出身。「大阪はレベルが違う。今思えば大阪人でなかったから逆に大阪の面白さが分ったのではないか」という。

デモクラシーの有り様についても厳しい視点を向ける。デモクラシーとは民衆が支配すること。古代ギリシャは民主主義の発祥の地だが、代表者を選ぶ選挙をするのは貴族制とっていた。なぜならそれはエリートを選ぶ、支配者を選んでた。これではデモクラシーではない。現代社会になってなるべく民衆の支配を抑えてエリートが代表支配するように複雑なシステムを作った。その典型がアメリカだという。

その一方で、デモクラシーのいい例が大阪で行われた都構想の住民投票だという。手作りのピラをまいたり、あちこちでみんなが話し論議をしていた。結局2回とも反対票が上回ったが、「ここにデモクラシーの有り様が見えてきたのではないか」という。「今後は人類学や考古学を学んだ上でもう一度日本の近代、現代を捉え返したらどうなるのかを考えてみたい」と意欲を見せる。(写真は授業風景)

さかい・たかし:1965年熊本生まれ。専門は社会思想、都市史。早稲田大学大学院文学研究科修士課程修了、大阪女子大学講師、2007年大阪府立大学人間社会学部准教授、同大学大学院人間社会システム科学研究科教授を経て2022年4月から現職。著書に『通天閣一新・日本資本主義発達史』(青土社)、『暴力の哲学』、『完全版 自由論』(ともに河出文庫)など。訳書にデヴィッド・グレーバーの『ブルシット・ジョブ クソどうでもいい仕事の論理』(共訳、岩波書店)、『負債論』(共訳、以文社)など。



ニューヨーク経験で培った "伝える"力を活かし TVメディアに羽ばたく新進気鋭アナウンサー

TBSアナウンサー 若林有子さん(商令元卒)



今回登場していただくのはTBSアナウンサーの若林有子さん。現在『ひるおび』のプレゼンター、BS-TBS『報道1930』のサブキャスター、『サンデージャポン』のレポーター、『Nスタ』や『JNNニュース』等を担当されています。小学校卒業後から高校2年までニューヨークで過ごし英語も堪能。大学在学中から『週刊朝日』の表紙を飾ったり、難関オーディションに合格したりするなど大活躍。大学生時代から、現在の仕事の話まで、ざっくばらんに語っていただきました。

■アナウンサーを目指すきっかけ

きっかけは2011年の東日本大震災でした。当時ニューヨークに住んでおり、震災の情報はネットニュースで知ったのですが、活字や写真を見ただけでは、どれくらい大きな地震なのかはわかりませんでした。学校から帰宅してたまたま点けた報道番組で、初めて津波の映像を見て、悲惨な被害状況にショックを受けました。文字だけでは伝わらないことを映像と声で伝えるTVニュースの威力を感じたそのときが、いちばんの契機となりました。

大学は、自宅通学できる国公立を親から勧められ、父親の出身大学でもあり、私が志望する商学部もある市大に進学しました。入学後、TV局でアルバイトを始め、そこで実際に番組制作の現場を見て、アナウンサーへの思いが強くなりました。仕事内容は、テロップの確認や、アシスタント・ディレクターのサポートなど、番組制作の末端の仕事で、その生の現場を見て想像以上に準備に時間がかかっていることを知りました。たった数分のニュースでも、放送時間の10倍も20倍もの準備時間をかけています。その膨大な時間をかけて取材・制作したものを、制作者の思いを乗せて視聴者に伝えるのがアナウンサーの重要な役割です。制作者と視聴者をつなぐ橋渡しとなるアナウンサーに憧れを抱いたのはこのときでした。

■入社してから知った大変さ

本番放送前の準備の多さ、大変さを改めて感じさせられました。例えば番組での10分のプレゼンのためには、オンエアの3~4時間前には入社して、資料を読んだり、スタ

ッフと打ち合わせをしたりします。5分間のVTRでも4~5時間はロケを行い、先方のリサーチの時間なども含めると半日くらいはかかります。視聴者が何百万人もいると思うと、たった数秒でも無駄にはできないので、より良い伝え方をひたすら模索します。自分の仕事にひたむきに取り組むような職人気質の方たちと一緒に仕事ができ、真面目な人が多いTBSは自分に向いており、入社前には知り得なかった居心地の良さを感じています。



正月番組「東西ドリームネタ合戦」の進行を担当して3年目

■ニューヨーク経験がアナウンサーに繋がっている

ニューヨーク(以下、NY)で過ごしたことで、それまでの自分にはなかった考え方に触れ、いろんな立場の人たちとの交流ができたことは大きな収穫でした。ディスカッション授業で、場の空気を読みながら相槌をうっていたら、「あなたはこう思っているの」と、自分の意見を求められたときのことや印象に残っています。NY生活で学んだのは、まずは自分の意見を相手に伝えることで信頼関係が築け、それ

が円滑なコミュニケーションに繋がるといことです。NYで恩師からいただいた「Be yourself」は、私の座右の銘として今でも大切にしています。

また、NYでの生活で"知る"の大切さも実感しました。中国人のクラスメイトから突然「日本人嫌いなんだよね」と差別的な言葉を向けられたことがありまし



NYの中学校の恩師Mr.Collinsと

た。その言葉に傷つきましたが、「なぜそんなことを言うんだろう」、「どういう歴史的背景や社会情勢から、そのようなヘイトが生まれるのだろう」と疑問を持ち、自分なりに調べてみました。決して共感はできなくても、どういう考えや気持ちが存在するのかを知ることで、視野が広がったり、自分の考えを深めたり、人生を豊かにすることができると感じました。誰かが何かを知るきっかけの一助になりたいという気持ちは、アナウンサーの仕事に繋がっているかもしれませんね。

渡米した当初は英語が話せず、自分の想いを伝えられないもどかしさを感じました。当時は、日本で青春を謳歌している友人たちが羨ましく、NYに住んでいること自体をコンプレックスに感じていましたが、帰国してから、NY経験がプラスになったなと思えるようになりました。

■大学時代の思い出

高校2年のときにNYから大阪に戻り、大学生になったら憧れだった課外活動を始めてみよう、テニスサークルに入り、とても濃密な時間を友人と過ごすことができました。今でも月に2、3回は学生時代の仲間と会っており、一緒に過ごす時間は仕事を忘れて1番自分らしくいられる貴重なひとときとなっています。

■休日の過ごし方

広く浅くいろいろなことに手を出しているのですが、中でも好きなものは漫画と音楽ですね。この二つは仕事で関わる映像の世界から離れられるので、頭を空っぽにすることができ気分転換となっています。

■母の姿をみて

尊敬しているという気恥ずかしいですが、私自身、母の考え方にいい影響受けました。私が幼い頃から、母は

いわゆるキャリアウーマンで、外で働くかっこいい姿が印象的で、ストイックに、やりがいを持って働く母の姿を見て、自分もこんなふうになりたいと思うようになりました。母はいつも真っすぐ私を見守りながら、的確なアドバイスをくれ、そのお陰で今の自分があると感謝しています。アナウンサーを目指しながらも、自分には向いていないのかなど悩んで泣いたときがあったのですが、母から「まだ泣くほど努力していないんじゃない。ちゃんと努力してから悩んだらいい」と言われたんです。泣いているんだから慰めてよと当時は思いましたが、(笑)でも母の言う通りなんですよね。このときの母の言葉があったからこそ、本気でアナウンサーを志望する自分の気持ちに向き合うことができました。1番のファンだと言ってくれる母からの言葉は、誉め言葉も厳しいアドバイスも、ありがたい限りです。(笑)

■今後の仕事の展望

具体的な展望があるわけではありませんが、漠然と「この人だからチャンネルを合わせよう」、「この人だから耳を傾けよう」と思ってもらえるようなアナウンサーになりたいですね。そのためには、自分には何が必要なのか模索中です。説得力なのか、知名度なのか、親近感なのか、答えはまだ出ていませんが、これからアナウンサーとしての実力を身につけられるように励むつもりです。

■今春、大阪公立大学開学式典で司会をされた若林さん。現役の学生に向けて

大学が統合されてOBOGの数が増えるので、そこで生まれた繋がりは大切にしてほしいですね。式典のときも新大学の規模の大きさにびっくりしました。市大のこじんまりしているところも好きだったので、その校風を大切な思い出として残しておきたいと思っています。

〈インタビューを終えて〉

TV画面から受ける印象同様に、澁刺ながら丁寧な語りのお陰で取材の雰囲気や和み、予定時間を大幅に上回っても快く対応していただきました。同時に、TVメディアでの仕事へのやりがいだけでなく、使命感までの熱情がひしひしと伝わってきました。ジェンダーギャップが問われる日本社会で、「女子アナ」若林さんの仕事へのひたむきさでいっそうの飛躍を期待。ますます応援したくなるインタビューとなりました。

インタビュー：奥山正昭(経昭44卒)

文責：加藤菜々子(経令2卒)

市大偉人列伝

高原慶一郎 高原記念館設立の立役者

高原慶一郎氏(1931~2018)は、世界企業を相手に、勝ち星をとり続け、驚異の増収益記録を更新した実業家である。大阪市立大学商学部を卒業後、弱冠29歳にして現ユニ・チャームを設立し、代表取締役役に就任する

など、高原氏は若くからその才能を遺憾なく発揮していた。そして、杉本キャンパスにある高原記念館は高原氏によって、建物の現物寄附を受けたものである。

高原記念館は、風情を醸し出す緑が豊かな敷地内で、樹木と外壁が見事に溶け込んだ斬新かつ調和を体現したものとなっている。本記念館は固定で仕切りのないオープンスペースで、利用に応じて変化させることのできる柔軟性を持つため、情報集積とコミュニケーションの場として最適である。

このような施設を現物で寄附をすることができることから、その器の大きさが伺いしれるが、これは高原氏の一面でしかなく、生前に日本の富豪トップ10にランキングするなどの偉業も成し遂げている。

高原氏が代表取締役会長を務めたユニ・チャームの事業内容は、ベビーケア、フェミニンケア、ウェルネスケア、キレイケア、ペットケアなどの関連製品、食品包材等の販売である。主軸となるのは、生理用品、紙おむつなどの市民に寄り添った衛生用品である。ベビーケア、フェミニンケア、ヘルスケア関連製品のシェア率はアジアで堂々の1位を獲得している。そして同社の海外売り上げ比率は驚異の6割超え、前述の衛生用



品では、しのぎを削り合う他の世界企業を抑え、シェアNo. 1を誇っている。

また企業活動のみに止まらず、数々の委員も務めていた。内閣府総合規制改革会議委員、経済産業省中

小企業庁中小企業政策審議会委員、文部科学省革新技术活性化委員会委員長、創業ベンチャー国民フォーラム副会長、厚生労働省社会保障審議会委員、(株)日本経済団体連合会評議員会副議長など多数の委員を務め、自身の才能を己のためだけでなく、社会のためにも注いだ。

このほか著書も多数輩出しており、『感動の経営:大事は理、小事は情をもって処す』(ダイヤモンド社)、『やる気・やるチャンス・やる力:ビジネスで成功

する100の知恵』(日経BP社)、『賢い人ほど失敗する:要領が悪い人でも成功するヒント』(PHP研究所)、『人生を生き抜くカン・コツ・急所』(同)、『理屈はいつも死んでいる』(サンマーク出版)などがある。

そして、高原氏の人生そのものを表していると言っても過言ではないであろう彼の名言がある。「他人との比較で勝ち負けを決めるな。人と比べるのではなく、過去の自分と競争しよう。自己ベストを出した人はみんな勝者だ」。この考えが念頭にあったために、彼は経営においても自己ベストを出し続けることができたのであろう。偉人高原慶一郎から我々が学ぶべきことはこの考え方ではないだろうか。

文責 大川矢真人(法2)



夢を架け
空間を創る



株式会社 駒井ハルテック

南国道路 国分川橋

〒550-0012 おもしろ動画ほか

大阪市西区立売堀4-2-21 TEL 06(4391)0811

<https://www.komaihaltec.co.jp/>



市大出身の社長さんご紹介

橋梁や鉄骨などの社会インフラ事業を通じて 国民のための社会資本の整備に貢献—夢を架け 空間を創る

株式会社駒井ハルテック代表取締役社長 中村貴任さん(商昭58卒)

今回は橋梁・鉄骨など鋼構造物の製造・建設に携わってきた「駒井ハルテック」の中村貴任さんです。「駒井ハルテック」は駒井鉄工株式会社と株式会社ハルテックが、2010年10月に合併した会社です。中村さんは2021年4月に社長に就任されました。

製造業を志望し、卒業当時、大阪証券取引所第2部に上場していた株式会社駒井鉄工所に入社。大阪に配属されると期待していましたが、いきなり東京工場(千葉県松戸市)勤務となり、その後、経理・管理畑を渡り歩かれました。別に経理・管理を希望したわけではなく、先輩方が市大出身だから会計は強いだろうという配慮だったようです。

社長になってから新型コロナウイルスの感染が拡がり、就任パーティなどはできなかったそうです。感染状況が比較的落ち着いてから、官公庁、商社、ゼネコン、金融機関、鉄鋼メーカーなどに挨拶回りに行かれています。このようなあいさつ回りは嫌いではないので喜んで行かれているそうです。

鋼構造物は受注生産なので受注したらできる限り御礼の挨拶に行きます。現場は東北地方から九州までいろいろな場所にあるので楽しく、最近では滋賀県の草津の現場に行ったついでに、普段なかなか行けない所に行くこともあるそうです。

橋梁の工事のピークは本四架橋の時代で年間の新設橋梁の発注量は約80万トンありましたが、最近では20万トンを下回っています。その一方で大規模な補修工事が増えてきています。鉄骨については、工場の格付けがSグレードといって、建築規模の制限なく、高品質・大規模の鉄骨を提供できる大臣認定工場となっています。首都圏の再開発が活発になっているため市場の規模が大阪に比べて大きいのに驚いています。最近ではSDGsやカーボンニュートラルなどの新たなテーマが頻出し、実現するための課題が増えてきているのが悩みです。



「若者は失敗を恐れずぜひチャレンジしてほしい」と中村さん



「夢を架け、空間を創る」と手がけた高知南国道路の国分川橋

大阪には3カ月に1回くらい来て、あとは富津工場、和歌山工場、東北や北九州の関係会社などを回っています。7月は全国安全週間、10月は全国労働衛生週間があるので、その都度各工場を回っています。このようにずっと外回りをしていると、本社に戻ると書類が溜まってしまいますので、できるだけ連泊はしない主義だそうです。

最近では風力発電用の風車にも力を入れています。日本は国土が狭いので陸上に造っても数ができないため、今後洋上に風車を造る研究が進められています。入社してくる社員は地図に残る仕事をしたい、自分が作った構造物だという誇りを持ちたいという人が多いので、大阪でもIRが進められ、周辺道路なども同時に大きな仕事を受注できれば、若い社員の励みにもなると期待しています。

新型コロナウイルスの影響で車で近郊の温泉地を巡

ることもできません。入社20周年では1週間の休暇がもらえたので北海道北半分を夫婦でドライブしました。リタイア後は北海道南半分のドライブができることを楽しみにしています。

学生さんには、若い時は少々突っ走って失敗しても許されるので、常にいろいろなことにチャレンジし、さまざまな経験をしてもらいたい。世の中いろいろ

少ないが、悪いことも少ない。AKB48「恋するフォーチュンクッキー」のサビに「人生捨てたものじゃないよね」というフレーズがあるように、きっといつかいいことあるという思いでぜひチャレンジしてもらいたいです。

社会人生活は努力も大事ですが、運と勘も重要と思います。車の運転でも最近ではナビがあるので、それに頼ってしまっただけだと感じています。是非、皆さんも運を引き寄せ、勘を磨いてください。

※中村社長とは、伊藤ゼミの同期で、卒業以来久しぶりにお会いしました。貫禄が出ておられましたが、親しみやすいお人柄とお話で、あっという間に時間が過ぎていきました。これからもビジネス最前線での活躍をお祈りしています。

文責 村上芳子(商昭58卒)

大阪医史蹟巡り

⑧ ウイルスと戦う人たち——海外篇

ワクチンの女神 カタリン・カリコ女史

コロナウイルスの蔓延は収束したのか

2022年6月27日の読売新聞によると新型コロナウイルスの「国内感染者数」952万6,403人で前日の9,572人増し。「死者累計」が3万1,142人で前日の13人増し。週一回発表の世界の死者累計では1位が米国の100万とび数千人、2位がブラジルの80数万人、以下インド、アフリカ諸国と続き、最少がシンガポールの5,000人弱、韓国約7,000人、日本が最少から三番目の上記3万1,142人とあります。6月26日の「アワー・ワールド・インデータ」による世界各国の「ワクチン接種率」は1位がカナダの86%、以下イタリア84%、日本82%、フランス81%、英国79%、米国78%、ドイツ77%までがG7で以下エジプト48%、南アフリカ38%、エチオピア37%、ナイジェリア13%、南スーダン9%、コンゴ共和国3%など、ロシアや中国といった巨大人口国の統計が未知なのと、分母の均一性に疑問もあって必ずしも参考にならないが、それにしてもG7各国とそれ以外の国との差が大きすぎて、地球全土の感染率が本年1月のピーク時の7分の一に減ったとはいえ、まだまだパンデミックが過ぎたとは言い難いのです。しかしながらここでのタイムリーなワクチンなくして、どれほどの人命が失われたかを思うと、このカタリン・カリコが築き上げた恩恵は計り知れないのです。ワクチンに何の感慨も持たない人に！

コロナウイルスのワクチンについて

VACCINEという語はラテン語の牝牛(VACCA)に由来し、18世紀の末天然痘に罹患した牝牛の痘瘡(牛痘)を人体に接種したエドワード・ジェンナー(英国)の試行に始まります。ウイルスはおろか細菌の存在すら定かでなかった時代のこの経験的免疫手法は世界中に広がってから二世紀後、人類はこれによって天然痘を撲滅するに至るのです。病原体そのものを弱毒化して感染させるこの「生ワクチン」は結核菌(BCG)・はしか・風疹などに受け継がれ、一方不活性化したウイルスをすり潰した破片を接種して免疫抗体を期待する「不活性化ワクチン」にはポリオ・日本脳炎・インフルエンザがあります。そして今回の「m-RNAワクチン」は不純物やウイルスの破片ではなく、もともとRNA一本のみで生きる新型コロナウイルスに対する外部からの生の

RNA(ワクチン)そのものであるため、見事な効果を示しパンデミックを抑え死亡率を下げています。

しかしながらm(メッセンジャー)RNAが人体に侵入したとき、強い炎症反応が起こって細胞が死に至ってしまう現象が起こります。一方今一つのt(トランスファー)RNAは容易にm-RNAに必要な蛋白質を伝達でき、そのキイとなるのがウリジンという物質であることが判っています。そこで〈1〉m-RNAにウリジンと似た化学構造を付けてみると炎症反応が起こらないことが判明。〈2〉更に人体内でなお不安定なm-RNAの個体に脂質の膜をつくると安定して長生きするm-RNAが生まれた。この〈1〉×〈2〉を40年かけて成し遂げたのがカタリン・カリコ博士で、2020年3月ピオンテック、ファイザー両社によるコロナワクチンが数万人単位で米国から世界中へと接種されて94から95%の有効率が報告されます。この数字に一番驚いたのが従事者である専門家たちで、従来のワクチンにはこのような初期の段階での高い有効率は得られなかったからです。カタリン・カリコ的设计によるm-RNAワクチンが極めて正確に免疫細胞を作り、抗体以外にもキラーT細胞やヘルパーT細胞といった細胞の免疫活動を強く刺激するからだという評価です。

Katalin・Kariko女史の生い立ちとその業績

カタリン・カリコは1955年1月、ハンガリーの首都ブタペストから100^{km}のソルノク市生まれで両親と姉の4人家族。小児期の祖国ハンガリーは第二次大戦のドイツ側敗戦国



カリコ家の家族写真。父母と二人娘の妹がカタリン 1995年

で、戦後はソ連の支配下での共産主義体制の真ただ中でした。国は荒廃して貧しく、カリコ家も一部屋の一軒家、小さなストーブ以外お風呂や水道もなく、井戸まで水汲みに行くといった日常でした。しかしながらハンガリー人の気質は勤勉誠実でクヨクヨせず、優しい人が多く耐えることに慣れていました。優秀な成績で小学校を終えたカタリンは土いじりや鳥の巣、生き物の観察が好き、とくに肉屋を営む父親が解体する豚の骨格や内臓をつぶさに観察します。ピオネールキャンプで担任になったアルベルト・トート先生はこの娘の将来を見抜き「リンネのような才能だった」と評しました。モーリッツ・ジグモンド高校を経て国立セゲド大学理

学部への入学後、3年連続して「人民共和国奨学金」を受けます。ハンガリー人の天才科学者で「ストレス学説」で有名なハンス・セリエ博士や、ビタミンCを発見してノーベル医学生理学賞をうけたセント・ジュルジ・アルベルト博士らと接触を得て文通し、励ましと知識を得させたのも彼の仕事でした。セゲド大学での研究は哺乳類の細胞にDNAを送るのをサポートするリン脂質を探ること、そしてDNAの情報をm-RNAに転写しリボゾームに運んで細胞内で蛋白質を生成することに成功するのですが、既にここでm-RNAとの一生の付き合いが始まったと言えます。

1985年地味で実利の薄いm-RNAの研究に対して国からの理解が得られず研究費が打ち切られます。唯一申請していた米国テンプル大学が期限付き研究生として受け入れをしてくれます。当時共産圏からの出国は100ドルの持ち出しに限られていましたが、彼女はそれでも貧乏覚悟の米国での研究者の道を選びます。100ドルではどうにもならず、娘の抱えるテディベアのぬいぐるみの中に密かに1,000ドルを隠して入国したという秘話があります。1989年当時はその研究テーマが地味で変わり者扱いされていた免疫学者ドリュー・ワイズマンとの出会いがあり、共同研究が始まります。研究棟の事務所にあるコピー機でのある日の会話がきっかけだったといわれます。



2020年 ドリュー・ワイズマン博士と

2022年 研究室でのカリコ博士
(TIME誌1月3日号より)

1989年ペンシルバニア大学医学部へ研究助手として移籍。2005年「不安定なm-RNAに人工的の化学修飾を加えると炎症が抑えられる」という共同論文を発表。これが偶然2020年にパンデミックを起こす新型コロナウイルスへのワクチン製作へと繋がります。環境的、経済的、語学的といったハンデを気にもせず唯々40年、当時何のメリットも期待できなかったm-RNAという対象にのみ絞って淡々と研究をつづけたこの頑強で静かな女神は、次期ノーベル医学生理学賞の受賞確実といった専らの噂に、その青い眼に微笑みをたたえるのみで多くを語りません。2022年6月5日、医学分野での優れた研究者に贈られる米国の「ガードナー財団国際賞」にカリコ博士がワイズマン博士共々



2022年 カタリン・カリコ博士近影

選ばれ、10万カナダドル(約990万円)が贈呈されます。この賞はノーベル賞の前哨戦とも言われ受賞者の多くがノーベル賞を受賞しています。

iPS細胞と愛娘スーザン

2012年、細胞のリセット即ち初期化された細胞iPS(induced pluripotent stem cell)が多く有用性を生むという一つの発見が山中伸弥教授のノーベル賞受賞へとつながったのですが、既に2010年にハーバード大学の研究グループが「m-RNAを使ってiPS細胞を効率よく作る方法」を示し、山中教授は快くこのドッキングを承諾します。これによってiPS細胞の生産能力が著しく増して前途が開けます。カタリン・カリコ女史のm-RNA理論がここでも世界のトップレベルの内容であったことが立証された訳です。

世界のトップといえば娘のスーザンは2008年の北京及び2012年のロンドンの二回のオリンピックで米国代表のボート競技エイトの一人として金メダルを獲得し、当時のオバマ大統領が直接カリコ家に祝福を与え、母よりも数年前に全米の話題となったのです。心身共々々々ならぬ優れたDNAを感じます。

田中祐尾(医昭44卒)



2008年 愛娘スーザンと

heritage in Osaka

around the medical

市大 OB・OG 紹介

映画『犬ころたちの唄』が大ヒット! 俳優・監督・プロデューサーと多彩に活躍 前田多美さん(文博平20修)

— 広島へ移住された理由は。

子どものころから女優になるのが夢で2012年から活動を始めました。出身は大阪ですが、2016年に好きな街、広島へ移住して活動の拠点としています。映画のロケで訪れた広島の街並みや人の触れ合いに心を惹かれました。私の中でじっくりくるものがあったのです。本学文学研究科表現文化学専修(2008年当時)で、小田中 章浩教授の指導の下、「表象の空間としてのゴーギャンとブルターニュ」というタイトルで修士論文を書き上げました。画家のゴーギャンが一時期を過ごしたブルターニュとの表象空間に注目した内容です。芸術家の表現に、その人が存在した場所だからこそ生まれた何かがある、という興味はゴーギャン研究の時から続いているのかもしれませんが。



前田多美さん

— 7月1日の文化構想学科主催「前田多美さんを囲んで」講演会には、現役の学生もたくさん集まり大変盛況でした。学生時代のことをお聞かせください。

小田中先生の、厳しく丁寧なご指導のおかげで、本当にいろいろなことを乗り越えられるようになったと思っています。小田中先生、海老根 剛先生が中心となり、今回の講演会を開催してくださった際、私の修士論文に触れながら、現在上映中の私の作品『犬ころたちの唄』について言及していただきました。当時の研究対象と今の作品に共通点があることにもあらためて気付きました。ひょうぶん(表現文化学科)で学んだことは私の人生の基礎になっていると思います。

— 映画『ドライブ・マイ・カー』出演について。

約10年前、俳優として東京で活動していたときのご縁で、濱口竜介監督と繋がり出演が決まりました。ご縁というのは、ゆるく繋がり続けて、思いがけないところでまた繋がったりするのだなと改めて感じました。そんな繋がりから、とんでもないプレゼントをいただいた気分です。私は本当に幸運だと思います。

*『ドライブ・マイ・カー』は2022アカデミー賞国際長編映画賞、2021カンヌ映画祭脚本賞など、多数の賞を受賞した話題作



映画『犬ころたちの唄』のポスター

— ご自身が監督された映画『犬ころたちの唄』について。

広島に移住して、好きな街で好きな人々を撮りました。どこにでもある家族の物語と言えるかもしれません。私が大阪で育ったからこそその視点や普遍的なテーマを描いているので、きっとみなさんも「どこか知ってる風景」と思ってご覧いただけるのではないかと思います。そして『犬ころたちの唄』は、音楽が鳴り止まない映画です。スクリーンに映し出される映像とともに、流れてくる音楽もまた聴きどころで音楽好きの方には特におすすめです。

— 現役生(後輩)へメッセージをお願いします。

最近の日本の傾向として「稼げるか否か」という尺度で物事を測り過ぎなところがあるように感じています。私の場合、何のためになるかわからないけれど好きだと思ったことを研究対象にして大学生活を過ごしました。たとえばゴーギャンという画家の生き様を研究しても稼げませんが、人生の糧になっていると感じます。ある程度大人になって思うことは「10代20代で心を動かされたもの」の力は本当にすごいということです。それは、紛れもなくみなさんの「今」の大切なものなので、ぜひ心を動かされるものをしっかり見つめてみてください。

聞き手:中村祐子(文平27卒)

前田多美(まえだ・たみ):大阪府出身。2008年大阪市立大学文学研究科 言語文化学専攻 表現文化専修卒業。俳優として2012年 今泉力哉監督『tarpaulin』、山下敦弘監督『ありふれたライブテープにFocus』でデビュー。初長編監督作『カノンの町のマーチ』(2018)をきっかけに『光をとめる』(2020)工藤祐次郎/リンドウ MV(2020)を制作。2020年濱口竜介監督『ドライブ・マイ・カー』に出演、2022年監督作品『犬ころたちの唄』が全国上映開始。

『犬ころたちの唄』公式サイト <https://inukorosongs.noob.jp/>

ビジネスの最前線で活躍する 先輩から後輩へ!!

恒例の「民間企業に務める卒業生と現役学生との交流会」を2021年11月27日にリモートで開催、今回も卒業生17人が参加し、多くの学生と熱心に本音のトークを繰り広げてくれました=写真=。

卒業生の勤務先はIHI、JR西日本、NTT東日本、NTT西日本、イトーキ、トヨタ自動車、パナソニック、竹中工務店、NTTデータ、農林中央金庫、三菱商事、東洋紡、近鉄グループHD、南海電鉄、東京海上日動火災保険、富国生命、阪急阪神不動産(順不同)の17社。

6、7人の小グループに分かれ、1回に2社、3回のグループ交流で合計6社の話が聞けるようにし、社会人としての基本姿勢から進路の決定、企業訪問、面接時の心構え、失敗やハプニング、職場環境やコロナ禍での変化等々、先輩後輩ならではのフランクな関係もあって、毎年のことながら大いに盛り上がりました。学生の皆さんにはこれを機会にビジネス業界への関心を深め積極的な活動に繋げて欲しいと思います。

参加学生からは、「こんな機会は滅多になく貴重な話が聞けて大変勉強になった。」「志望する企業で実際に働かれて



いる先輩の声聞いて非常に有意義だった。」「次回は是非対面で!」「他の学生の質問や同じ悩みを持っていることなどとても参考になった。」「次回も参加したい」といった声が多く寄せられました。

参加してくれた卒業生からは「久々に現役学生の声が聞けて瞬時に昔に戻りとてもリフレッシュできた」「卒業生同士の交流会もして欲しい」など、多忙な日常を少し忘れる貴重な時間になったようです。

リモート開催になり物足りない一面がある一方、遠方からの参加が可能となり、今回はシンガポールから卒業生が参加してくれました。本年も11月に開催予定ですが、対面とリモートのハイブリッド方式を検討中。新大学になりより多くの卒業生と学生に参加してもらえれば嬉しい限りです。

(文責:事業委員会 北村吉文)

五代シンポジウム開催 シンポの報告書を刊行

五代友厚公が関係したという通説「官有物払い下げ説」を問うシンポジウムが今年1月22日、本学田中記念館ホールでハイブリッド方式で開催された。当日は、新型コロナウイルスの感染拡大も相まって参加者は限られたが、五代無実論を実証した末岡照啓・住友資料館研究顧問と志学館大学教授で鹿児島大学名誉教授の原口泉先生を迎え、シンポジウムは大いに盛り上がった。

また、朝ドラ「あさが来た」(2015)や大河ドラマ「晴天を衝け」(2021)で五代友厚公を演じたディーン・フジオカさんからビデオメッセージを頂き、「五代友厚公の名誉回復を願う者の一員である」という言葉に、会場に居た者は皆心を打たれた。

五代友厚研究会から代表の片山翔太(法2)が「将来的に必ず、教科書の記述は変わる」と力強く語り、橋本美沙紀(商3)さんと中居拓海(商1)さんからは「教科書会社に対して、五代友厚公の事実と反する記述の訂正を求める」という旨の声明が発表された。 文責 片山翔太(法2)=学年は当時=



このシンポジウムを記録した「五代友厚シンポジウム報告集」=写真=が7月に刊行された。報告集は「第Ⅰ部シンポジウム」「第Ⅱ部日本史教科書関連報告文書等」の二部構成で、大阪市立大学同窓会総会(7/5)出席者に配布、HCD(11/5)及び各支部での総会で配布される。「北海道開拓使払い下げ事件」の教科書記述については、令和4年版教科書見本「日本史探求(清水書院)」では、「政商五代に払い下げようとして問題化した」との従来の記述を令和4年版では「38万円という不当に安い価格で同じ薩摩藩出身の政商五代友厚の経営する『関西貿易社』に払い下げようとしている」と新聞が報じて問題化」と書き換えている。なお、山川出版社、東京書籍からは、「北海道開拓使払い下げ事件」の記述内容を検討したいとの回答をもらっており、今後とも注目していきたい。

五代友厚記念事業委員会事務局(上村修三)



就職活動とキャリア・就職支援について

今年春卒業・修了した学生については、コロナ禍の影響は続くも危機感を持って就職活動に取り組んだ学生が多く就職率は96.0%と前年比+2.8%増という結果になりました。

現在の学部4年生および修士2年生の就職環境は、インターンシップに連動した選考の早期化で、4月の内定率が過去最高と発表されています。大阪市立大学の学生も活発に就職活動に取り組み、民間企業志望、公務員志望の学生ともに着実に内定を得ている状況が伺えます。

大阪公立大学の開学に伴いキャリア支援室の体制も変わり、これまで大阪市立大学・大阪府立大学が保有していた「就職・キャリア支援」の経験値を融合し、シナジーを創出し、脈々と続く多数の企業等との関係性を継承・拡充し、「大阪公立大学」の「新人材」を社会に送り出すための支援に努めています。

卒業生の皆様には、新しくなった大阪公立大学の学生にも、引き続きご支援・ご協力くださいますようお願い申し上げます。

(キャリア支援室長 阿部剛史)

働きながら海外の大学院で学ぶ

昨今、コロナ禍で留学のかたちは多様化しています。その中で働きながら海外の大学院で学ぶという選択肢をご紹介します。(国際交流課)

奥村真由(商令3卒)

わたしは今秋からイギリスのYork大学でオンラインMPA(公共経営修士)を受講予定です。授業・研究が100%オンラインで完結する2年間のコースです。仕事と両立できること、学費が現地渡航の約1/3に抑えられること、世界レベルで社会政策を学べること等から今回の選択に至りました。



入学までに苦労したことは英語スコアの取得です。仕事をしながら勉強時間を確保するため、留学エージェントの力も借りつつ、1.5カ月の短期間で計画的に学習しました。

オンラインでの受講では、教授や仲間とのコミュニケーションが取りづらいことが弱点だと思います。そこで、大学の専門アドバイザーと定期的に話す機会を設けたり、留学中の友人たちと励まし合いながら、上手く進めていきたいと考えています。

大曾拓也(商平17卒)

学部時代はろくに勉強せず、授業中に寝ているような学生でした。社会人になって初めて、好きなだけ学問に没頭できる4年間の大切さに気づき、最初から全部やり直すつもりでMBA(シンガポールの南洋理工大学)を志しました。

MBAの選考過程では仕事の成果が重要視されるため、日々の業務で実績を残すことが一番大変でした。大学を出たばかりの青年に大きな裁量を与えてくれた当時の会社と上司には感謝しています。国も職種も職歴も違うエリートた



BizPEN

執筆を、ビジネスのエンジンに。

<https://bizpen.jp/>



価値は伝わらなければ意味がない。

情報が溢れる時代だからこそ、人や商品、サービスの背景にあるストーリーが重要になってきています。大切なことを、わかりやすく伝える支援を通じて、一人ひとりの努力が報われる時代をつくります。

動画やブログの更新に疲れたあなた！
ブランディングやマーケティングに、電子出版という選択肢を。

税理士事務所、ネイリスト、鍼灸院等、多数の実績あり。
書籍の企画から介在、書籍のプロが出版まで徹底伴走

- ① コンセプト開発
- ② 執筆サポート
- ③ 電書化/出版



ちと切磋琢磨したMBAでの経験は何事にも代えがたいものになりました。

一方で、クラスで唯一の日本人、営業、機械メーカー出身というマイノリティーな状況の中で、自分の主張が理解されないことが多々あり、何度も悔しい思いをしました。また、新型コロナの影響で対面でのディスカッションが制限

されたものの、今後のビジネスの様式を考えると良い練習になったと前向きに捉えています。

MBAは人生を変える万能薬ではなく、それ自体に価値はありません。しかし、世界を相手にビジネスをしていきたいという方にとっては良い機会になると思います。

オープンキャンパス2022

8月4日から7日まで各キャンパスにおいて「オープンキャンパス2022」が開催されました＝写真＝。今回は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を鑑み、感染症対策をとりながら事前予約制での開催となりました。

来場型のオープンキャンパスとしては2019年以来3年ぶりの実施で、炎天下での開催となりましたが、杉本キャンパスでは6、7日の2日間の開催で6500人以上、全キャンパス合わせて4日間で1万2000人以上もの方々にご来場いただきました。

会場では、学部説明会や個別相談会、模擬授業など各学部の特色を生かした大阪公立大学ならではのプログラムや、入試についての説明会、理系女子学生による相談会など多種多様なプログラムが実施され、多くの方にご参加いただきました。

また、webサイト上では学部・学域紹介動画等、現地以外でもお楽しみいただけるコンテンツを掲載いたしました。

ご協力くださった皆さま、どうもありがとうございました。

(入試課)



ついに新大学が開学!

今年4月1日、大阪市立大学と大阪府立大学の両大学が統合し、「大阪公立大学」が新大学として発足しました。

4月11日には入学式が執り行われ、約4400人の学生が新大学に入学しました。合わせて1万6000人以上の学生数を誇る総合大学の誕生は、これまでに類を見ない規模であり、文部科学大臣、大阪府知事、大阪市長が出席するなど大きなニュースになりました。

新大学では、社会と連携し企業と共に新しい価値を創り上げる「共創」という概念を重視し、イノベーションアカデミー構想などの特色ある取組みを推進しています。

新大学の発足とともに両大学の基金を再編し、「大阪公立大学・高専基金」がスタートしています。大阪市立大学夢基金からの変更点として、大阪府のふるさと納税制度を活用した寄附が可能になりました。控除上限額の範囲内で実質2000円の負担で寄附いただけます。引き続きの力強いご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

(広報課ステークホルダー連携推進室)



大学看板除幕セレモニーの様子＝杉本キャンパスで

初めまして 「一般社団法人大阪女子大学同窓会斐文会結婚相談室」です

55年前に誕生しました 当結婚相談室は1967(昭和42)年10月、大阪女子大学(旧制大阪府女専)卒業生の斐文会会員とその関係者の結婚をサポートする組織として始動。準備会議には学長・事務局長・教授も参加され、大学敷地内の「斐文会館」で活動を始めた「斐文会結婚相談室」は、同窓生の結婚支援という奉仕的活動を通じて、それ以来ご縁を繋ぎ続けています。

ぐんとご縁が広がりました 本年4月の大阪市立大学と大阪府立大学の統合により、大阪市立大学ならびに大阪公立大学の皆さまとそのご紹介者にもご入会いただけることになりました。折しも同月、当結婚相談室も組織の強化とさらなる躍進をめざして法人格を取得。「一般社団法人 大阪女子大学同窓会斐文会結婚相談室」を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

入会金 20,000円 年会費 15,000円 開室日時 水・土・第1日曜日 10:30~16:30



一般社団法人 大阪女子大学同窓会斐文会結婚相談室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-4-25 フルーレ新大阪506号

お問合せはお気軽に Tel:06-6390-1518 <https://hibunkai-soudanshitsu.jimdosite.com/>

国際広報室を開設

—研究成果の国際発信強化に向けて—

国際広報担当特命副学長 鶴田大輔

今年4月1日、大阪公立大学開学と同時に広報課内に国際広報室が設置されました。メンバーは、室長と日本人担当者2人、英語担当外国人コーディネーター2人の合計5人です。主たる業務は、本学の研究成果に関する英文のプレスリリースを作成し、タイムリーに海外発信を行うこと。加えて、英語版公式Webサイトの運営、英語版SNSの運営や国際交流課等と連携しての海外ゲスト対応補助、国際イベントに関する情報発信などです。

これまで府大・市大においては、これらの業務に関する専従部署がなく、一部の教職員が副業的に対応していました。しかし今や多くの国際共同研究を実施している有力大学で

は日本語と同時に海外発信が行われており、情報の受け手は世界に広がっています。

まずは、Osaka Metropolitan University が大都市大阪にある総合大学であり、高度研究が活発に行われていることを世界に発信してまいります。同窓生の皆さまにおかれましては、SNSでのご反応など、母校を応援いただけましたら幸いです。



公式英語Webサイトにて、海外ゲスト来訪や最新教育・研究成果を発信！

戦没学友の碑献花の集い

とき： 令和4年8月3日(水)

ところ：戦没学友の碑前(1号館講堂南西)

平成14年4月の碑建立以来、桜花爛漫の4月上旬に「戦没学友の碑 献花の集い」が開催されていたが、14回目となる本年は、コロナ禍・猛暑の中、広島・長崎での平和記念式典に先立ち8月3日に大阪公立大学・大阪市立大学同窓会共催で開催した。コロナ禍・猛暑を鑑み、戦没学友遺族、碑建立発起人、発起人家族の方々には参列をお控えいただき、同窓生及び辰巳砂学長はじめ大学教職員、学生代表(2人)その他多数の関係者計約60人が参列した。



大グリーンクラブOB会)21人による「學園(まなびや)」(1940年、大阪商科大学創立60周年を祝して創作。作詞は大阪商科大学合唱団の金子仁作氏)を献歌した。辰巳砂学長、岡本会長挨拶後に、参列者を代表して学長、会長、学生代表2人により戦没学友の碑に花束を献花し＝写真＝、参列者は黙とうを捧げて平和を祈念した。なお、集いの模様は、翌日早朝のNHKニュースで流れた。

これまでの調査で明らかになった学徒出陣による戦没者は59人であるが、先の大戦での同窓生・大学教職員戦没者はいまだすべてが明らかになったわけではなく、「戦没学友の碑」を風化させないためにも本学戦没者を地道に調査していくことが、大学教職員、学生並びに同窓生のつとめだと思う。 上村修三(商昭53卒)

これまでの調査で明らかになった

男子ソフトボール部にみる市大・府大部活合併

市大と府大が統合したことに伴い、部活やサークルにおいても合併するという流れが見受けられた。運動部の大阪公立大学男子ソフトボール部＝写真＝に焦点を当て、当事者である辻内聖人さんに取材した。

合併による最大のメリットは、部員数の増加。合併前は部員数が少なく、満足に部内試合も出来なかったが、合併後は部員が増えたことで、部内で試合を行うなど、実戦に近い練習ができるようになったという。

もっとも、この部員が増えたことは良かったことだけではなかったらしい。それは、合同練習の時間の短さ、お互いが先輩から受け継いだ目標の違いという点で、如実に現れてしまったようだ。

しかし、連携プレーの練習時間に限りがあることによって、逆に中身の濃い練習ができ、受け継がれてきた目標をお互いがすり合わせることで、チームとしての団結力も強まったともいう。

現在ソフトボール部は、秋の大会に向けて努力している。合併の困難を乗り越えたソフトボール部には是非とも頑張ってもらいたい。

大川矢真人(法2)



同窓会ニュース



大阪公立大学校友会設立総会開催

とき： 令和4年6月11日(土)

ところ：大阪公立大学学術情報センター

大阪公立大学校友会の設立総会を兼ねた第1回総会が午後2時から開催され、会場72人、オンライン38人の計110人が参加、大阪市立大学と大阪府立大学の統合新大学、大阪公立大学が開学したことを受けて、両大学の全学同窓会も「校友会」として新たに船出した。

総会では来賓の西澤良記・公立大学法人大阪理事長の挨拶の後、「校友会設立までの経緯」を報告、議案として校友会会則と役員選出について審議、承認された。

引き続き会長に就任した岡本直之氏が挨拶、地域同窓会、校友会支部設立支援に100万円の予算を計上するなど2022年の事業計画案並びに予算案が審議され、承認された。この後、辰巳砂昌弘・大阪公立大学学長らが記念講演した。



校友会会長に就任し挨拶する岡本直之氏

その後、新副会長に就任した諏訪頼久、塚本喜左衛門、福田新之助の3氏が挨拶、今回をもって副会長を退任した深尾愛二郎氏が挨拶し、岡本会長から感謝状と記念品が贈られた。

引き続き研究者交流室で茶話会形式での懇親会が開かれ、同窓生同士の交流を深めた後、塚本副会長の発声で「桜花爛漫」を合唱し、散会した。 大川矢真人(法2)

市大全学同窓会・有恒会定期総会開催 橋村公英・東大寺別当が記念講演

とき： 令和4年7月2日(土)

ところ：大阪公立大学学術情報総合センター

雲一つない快晴の下、午前11時から全学同窓会定期総会が開催された後、引き続き橋村公英東大寺別当の講演、午後2時から是有恒会定期総会が開催された。

全学同窓会定期総会は検温・消毒・出席管理など厳重なコロナ対策がなされた上での開催。来賓の櫻木弘之副学長が「本当の意味での知恵を集めることによって、総合知で越えていき、地域社会、ひいては世界に貢献する学生を育てていきたい」と挨拶した。

次に岡本直之会長が議長となり活動報告・決算報告・監査報告・計画案・予算案・役員任期満了に伴う改選・令和4年度組織体制案の5つの議案について審議、承認された。最後に大阪公立大学開学に伴う会則一部変更、校友会設立についての具体的な人事、五代友厚記念事業などについて報告された。

この後、東大寺の橋村別当が「歴史の彩りと東大寺」と題して講演、引き続き有恒会定期総会が開催され、78人が参加。岡本会長の開会の挨拶の後、活動報告・監査報告・活動計画・正味財産増減・計画書予算案・役員任期満了に伴う改選・会則の一部改正の6つの議案への承認が盛大な拍手と共に可決された。



コロナ感染防止の中開催された全学同窓会総会



「歴史の彩りと東大寺」をテーマに講演する橋村別当

女性部会(WPC)ニュース 「令和3年度総会」第9回交流会 (オンライン)報告

とき: 令和3年11月7日(日)

大阪市立大学同窓会女性部会(WPC)は、初めての総会と9回目の交流会をオンラインで開きました。総会では会則、事業報告、運営体制が承認されました。

交流会は、池上知子氏(甲南大学文学部特任教授・大阪市立大学名誉教授)を話題提供者にお迎えし、「アカデミアとジェンダー」をテーマに、ご専門の社会心理学の知見も交えながらお話しいただきました。

池上氏は京都大学卒業後、愛知県立芸術大、愛知教育大学、米オハイオ州立大を経て、大阪市立大で16年間

勤務され、研究科長、副学長を歴任、定年退職された昨春、甲南大に移られました。ご専門は「対人認知」です。

アカデミアの世界は、好きなことを生業にでき、研究成果を発信できるという良さに加え、「学生と交流し共に学び研究することが活力になる」。一方、ジェンダーギャップ(院の進学率、研究者の割合、『ガラスの天井』等)は存在し、「ヒエラルキーの上位は男性が占めている」と指摘、ジェンダーハラスメント事例にも言及されました。

その背景には、性差に関して、無意識であるが故に気づかず、意思決定に影響を及ぼす「アンコンシャス・バイアス」があり、女性は客観的に男性と差がなくても「管理職等の役割に

込みする」「成功恐怖を持つ」「自身を過小評価し男性に依存する」等の劣等性の内面化が見られること、池上氏ご自身がアンコンシャス・バイアスから解放されたのは、次のステップに進む際に背中を押してくれたよき理解者の存在があったこと、「だから、周りの人たちは敵対するより味方にすることが大切」と笑顔で語られました。

質疑応答では、大学でのセクハラ打開策、ポジティブ・アクションへの賛否などについて活発な発言が相次ぎ、内容の濃い時間となりました。

WPCでは、今後、このような交流会を大阪公立大学校友会、在学生にも輪を広げて活動を行っていく予定です。ご関心のある方は、wpc@osaka-cu.netまでご連絡ください。

女性部会(WPC)世話人会

知と心のリレー



大阪市立大学での学び、そして大阪公立大学への期待

大阪市経済戦略局立地交流推進部長
前公立大学法人大阪事務局学術研究支援部長
折原真子

平成29年から令和3年の5年間、教育、研究、社会貢献等を支援する立場として働きました。当初は組織文化や仕事の進め方に戸惑いもありましたが、次第に多様な方々との協働による仕事に大学職員としての醍醐味を感じ、最後の2年はコロナ禍への対応、新大学に向けた準備と大変充実した時間でした。

特に、教職員、URA(*1)、研究員等、性別、キャリア、タイトル等の違いを乗り越え、多様な分野やバックグラウンドを持つ人達と、例えば文科省、JST(*2)等の補助金獲得等の一つのゴールに向かって働くことができた事です。大学が研究者だけでなく、組織的にも外部資金獲得をしながら施策を展開する仕組みを学びました。また私の人生のテーマの一つであるDiversity Issuesに関わり女性研究者支援事業を自分事として取り組んだことも有意義でした。先進的にGender Equalityに取り組む組織と連携のためアメリカ、ウィスコンシン大学マディソン校や、マレーシア、テイラーズ大学等を訪問し、議論、意見交換を行ったことも海外と交流する経験値を上げ今に繋がっています。(*3)

女性研究者支援室を通じて、有意義な活動をされている大阪市立大学同窓会女性部会(WPC)の皆様とのご縁も頂きました。

最後の2年間、コロナ禍で大学教育を止めないため遠隔授業の実施に教職員チームで取り組んだことは、現場を知り、またマネジメントの観点で大きな自信となりました(*4)

大学職員としての役割等についても考えることが多くありました。大阪公立大学として船出した大学職員の皆さまには、教育、研究、学生支援等に関し専門性を高めつつ、高等教育機関としての大学を高い目線で俯瞰できる自立した大学職員となっただけでいいと思っています。組織文化の相違や、教員との関係においては、立ち位置が難しい局面がありますが、人材育成の一端を担うという自覚と誇りを持ち、向上して頂きたいと願っています。

最後に、大阪市立大学の中興の祖である、関一(せきはじめ)第7代大阪市長の「国立大学のコピー(コピー)であってはならない」との言葉は有名ですが、その先には次のように述べられています。

「大阪市立大学は学問の受売卸売の市場ではない。大阪市を背景とした学問の創造が学生、出身者、市民を通じて、大阪の文化、経済、社会生活の真髄となっていく時に設立の意義を全くするものである」

大阪公立大学においても、この精神は引き継がれること、そして大阪公立大学の更なる発展を祈念しています。

*1:ユニバーシティ・リサーチ・アドミニストレーター

*2:国立研究開発法人科学技術振興機構

*3:参考「女性研究者支援事業への思い」(大阪市立大学女性研究者支援室HPより)

*4:参考「遠隔授業実施までの教職員による奇跡のプロセス! : 全ての学生を取り残さない遠隔授業を目指して」(大阪市立大学『大学教育』第18巻第2号2021.4)

2022年度大阪公立大OBOG公務員と 公務員志望学生交流会

とき： 令和4年7月9日(土)

ところ： 大阪公立大学田中記念館(杉本キャンパス)

公務員志望の学生が、近畿圏自治体公務員や国家公務員として勤務する市大OBOGの意見・助言などを聞く学生交流会。「職業としての公務員」について理解を深める機会とすることを目的に、2013年から開催され、今年で11回目を迎えました。初の校友会主催で、公立大、府大、市大の3大学学生60人と市大OBOGの公務員勤務者・勤務経験者16人が参加しました。

全体会のあと、分科会を2度にわたって開き、最後に茶話会で締めくくりました。公務員の抱えるさまざまな課題や仕事のやりがい、公務員試験受験勉強の経験や、学生生活へのアドバイスなどが、学生の皆さんには特に参考になったようです。また茶話会での、打ち解けた話合いも好評でした。

来年は府大OBOG公務員も加えて、OBOGの交流もより深めていきたいと考えています。公務員の同窓生の積極的なご参加をお待ちします。

扇田豊(法昭50卒)



OBOG 公務員・学生交流会 全体会



OBOG 公務員・学生交流会 分科会

「都市経営研究科・創造都市 研究科同窓会」発会式開催

とき： 令和4年3月26日(土)

ところ： 中央電気倶楽部

創造都市研究科同窓会が新たに設置された都市経営研究科同窓会と合併、『大阪公立大学都市経営研究科・創造都市研究科同窓会』としてスタートし、その発会式を開催した。新しい体制は、これまでの創造都市研究科および都市経営研究科修士生全員がメーリングネットワークにより同窓会に参加出来ることとなり、発展的な同窓会として今後活動することを確認した。

第1部では、塩澤由典・大阪市立大学初代創造都市研究科長、遠藤尚秀・大阪公立大学初代都市経営研究科長、新藤晴臣・大阪市立大学創造都市研究科長がスピーチ・記念講演。第2部の設立総会には役員、来賓を含め約100人が参加。「都市経営研究科・創造都市研究科同窓会規約(第7版)」につき、設立準備委員長の福田耕治より説明を行い、会場一致で規約を承認した。

この後、「全役員案(世話人、代議員、役員、会長、副会長、準備委員、委員長)」につき、「都市経営研究科・創造都市研究科同窓会第1期役員案(資料3)」を諮り、会場一致で承認した。代議員は創造都市研究科48人。経済15人、公共14人、アントレ/システムソリューション9人、アジアビジネス分野10人。都市経営研究科8人。政策2人、行政2人、ビジネス2人、医療・福祉2人が選出された。役員らは次の通り(敬称略)。

【役員(10人)】福田耕治(創都・経済分野)、芝稔洋(創都・公共分野)、島浩二(創都・アントレ/システムソリューション分野)、住田弘之(創都・アジア分野)、辰井菜緒(都市経営・政策分野)、浅野京子(都市経営・行政分野)、阪西洋一(都市経営・ビジネス分野)、西田和人(都市経営・医療福祉分野)、※大塚文彦(当期院生会会長)、※幸崎裕(当期院生会副会長)。(※院生会は当期)

会長：福田耕治▽副会長(都市経営担当)：辰井菜緒▽準備委員(創都・共生分野)：小辻昌平▽IT委員長：橋本沙也加

同窓会ニュース



『新・空間時代』へ
Sun Create System

サンクリエイティブ工業株式会社

代表取締役 矢野 憲 治 (法S46卒)

〒299-0101 千葉県市原市青柳北4-2-5

TEL. 0436-98-3777 FAX. 0436-98-3888

携帯電話：090-3314-8399 mail : yano@suncrtem.co.jp



「都市経営研究科・創造都市研究科同窓会」会長挨拶

今年4月1日より、大阪市立大学と大阪府立大学が統合し、日本の文教政策史上でも最大規模の、学生数1万6000人の新たな公立大学としてスタートをいたしました。大阪市立大学都市経営研究科は、そのままの体勢で大阪公立大学の都市経営研究科として継続いたします。大阪市立大学創造都市研究科より20年近い伝統の、社会人大学院同窓会としてより大きなネットワーク作ることで、交流を深め、都市と大学の発展の一助となるように皆様と力を合わせて、同窓会の役割を担ってまいりたいと存じますので、ご支援賜りますようお願いいたします。

福田耕治(創都平25修)



「都市経営研究科・創造都市研究科同窓会」発会式

経友会 第26回総会 3年ぶりに開催

とき: 令和4年6月11日(土)

ところ: 杉本キャンパス学術情報センター文化交流室

令和4年度の経友会総会は、この日午前11時から開催されました。令和2年度の第24回、3年度の第25回総会は、新型コロナウイルスの感染拡大のため、経友会ニュースに総会議案書を掲載して書面審議をお願いしましたので、3年ぶりの対面の総会となりました。



挨拶する塚本喜左衛門・経友会会長

本年4月、本学が府立大学と統合されて大阪公立大学となり初めての経友会総会となり、滋野由紀子経済学部長出席のもと開催されました。本会の名称を「大阪公立大学経友会」と改称することをはじめ、大学名変更による経友会会則の関係規定の改正が行われました。また、令和3年度の経友会会計決算、商経講座会計決算、経済学部創立70周年記念事業会計決算が承認され、令和4年度の経友

会事業計画と同会計予算案、商経講座計画と同会計予算案が原案通り承認されました。

今後の運営について、活発な意見や要望などがあつたなかで、経友会会計の赤字を会員の募金で賄っている現状に関して、活動継続のために収支アンバランスの問題をどう解決すべきか根本的に検討されたいとの意見があり、早急に取り組む課題としました。

また、この総会では商経講座の開講に多大の尽力をされてきた経済学部の担当教授、松本淳先生と、講座運営委員として講座運営の中心的役割を果たしてきた経友会常任幹事、橋本純氏、伊東千秋氏に対して経友会から感謝状が贈られました。

商経講座は、平成17(2005)年に経済学部の要請に応じて経友会が講師派遣などの協力を行い、経友会講座として発足したのが始まりで、平成26(2014)年に商友会と共同実施することにより商経講座となり、現在では学生さんたちには商経講座の名称が定着しています。この講座には文系、理系を問わず、多くの本学卒業生の方々が講師として教壇に立たれました。こうした方々の協力と全学同窓会からの支援があつて今日に至っています。

担当のお三方は令和2(2020)年には新型コロナウイルス感染拡大のためオンライン講義に切り替えて開講、昨年度は対面との併用講義とするなど、田中記念館ホールでの講義準備や機器の調整など同講座の開講に大変な努力を



ツカキグループ
TSUKAKI ツカキ(株) 塚喜商事(株) 京都和装(株)
マリエクラッセ(株) (株)タムラ (株)京朋

Growing Together
～共に成長を～

社長 塚本喜左衛門(S46 経卒)

グループヘッドオフィス
京都市下京区烏丸通仏光寺上ル二帖半敷町661番地
〒600-8412 TEL. 075-341-3547(大代表)
<https://www.tsukaki.com/>

物流を通じて豊かな明日に挑戦



株式会社 杉村 倉庫

杉村グループ: 杉村運輸株式会社
杉村興産株式会社

本社: 〒552-0013 大阪市港区福崎1丁目1番57号
TEL 06-6571-1221 Fax 06-6574-8595
東京事務所: 〒103-0027 東京都中央区日本橋1丁目2番10号
TEL 03-3272-2441 Fax 03-3272-2446
営業所: 関西圏 4営業所、首都圏 4営業所
ホームページ: <http://www.sugimura-wh.co.jp/>

重ねられました。参加者一同は改めて長年にわたる強い熱意と真摯な努力に対し感謝と敬意を表しました。

出原康雄(経友会事務局)

理学部同窓会を開催

とき： 令和4年7月16日(土)

ところ： 田中記念館



大阪市立大学理学部同窓会(以下「理学部同窓会」という)総会が開催され、大阪公立大学理学部同窓会(以下「新同窓会」という)の設立が承認されました。この新同窓会は、大阪公立大学理学部・理学研究科の学生・卒業生・教職員ばかりでなく、大阪市立大学理学部・理学研究科と大阪府立大学理学系の学科・理学系研究科の学生・卒業生・教職員を会員とする同窓会組織です。

皆様の理学部同窓会は、2024年度末まで存続し、その後、新同窓会に一本化されます。少しややこしい話ですが、皆様は少しの間2つの同窓会組織に所属されることになります。その理由は、理学部同窓会の資金を他の組織のために使用することが適切でないと判断したためです。理学部同窓会の皆様は、親しみのある名称が無くなってしまふことに寂しい思いをされるかもしれませんが、新同窓会を新しい会員と一緒に盛り上げて頂きたいと思ひます。

入江幸右衛門(昭50理院修)

紀貫之の土佐日記は航海記

私は泉南沖をヨットでクルージングしていた時、遠くの山々の下に広がる海岸を見て、白砂青松という言葉が浮かぶとともに、紀貫之のことを思い出しました。彼が土佐の守の任を終えて京へ帰る時、泉南沖を船で通ったことを記憶していたので、「白砂青松を見ながらの船旅であったろう」と思ったのです。



土佐日記には「和泉の灘より小津の泊りを追う松原、目もはるばるなり」、「石津というところの松原はおもしろくて 浜辺とおし」とあります。この時私は「土佐日記の航海記」を書く、どのようなものになるのだろうと興味がわいてきたのです。私は「土佐日記」に関連する本を多数持っていますが、「土佐日記の文学作品としての良さを一般読者向けに出版したものはない」と思いました。

「土佐日記が航海記である」という視点から、土佐日記が「日本固有の話し言葉・書き言葉による最初の日本文学作品」であることへの世間の周知を期待して書きました。日本文学界に一石を投じることになればと期待しています。

商学部 昭和34年卒業 西野 恕(ゆるす)

リーブル出版 2020年10月(2000円+税)
アマゾンで発注すると翌日届きます。是非、ご購入を!

大阪公立大学商友会 創設25周年記念誌

『商友会に集いて』が完成!

同窓会ニュース



五代友厚が中心となって創設された「大阪商業講習所」をルーツとする商学部の同窓会組織である「商友会」の大阪公立大学商友会創設25周年記念誌『商友会に集いて』(80頁、オールカラー、無線綴じ製本)=写真=が、今年7月30日に発刊されました。この記念誌には、大阪商科大学跡記念石碑を今年3月5日、五代スクエアに再建立された記事も掲載されています。(荒川学長、岡本会長ほか40人が出席)

同日開催予定の商友会総会で記念誌を配布・披露する予定でしたが、コロナ感染者激増により、やむなく11月12日(土)14時より、都シティ大阪天王寺5階宴会場にて、「商友会総会・記念講演会・懇親会」を開催延期することになりました。

すでに、商友会創設25周年記念事業にご寄付をいただいた方には、発刊のタイミングで「商友会記念誌」をお届けさせていただきました。

商友会副会長 大西基勝(商昭52卒)

なお、商友会会員以外でも、ご希望の方には、記念誌を販売いたします。総会の件も合せて、お問い合わせは、商友会:村上芳子事務局長 UG196163@nifty.com まで。



商友会発行『商友会に集いて』

マンションライフをすみずみまでサポートします。

すみ すみ
sumizumi 澄住サポート 株式会社

マンション管理業登録 国土交通大臣(1)第034319号

代表取締役 北野 好浩 (文学部 平成2年卒)

本店 177-0042 東京都練馬区下石神井1-9-21 TEL 03-3904-6980

ホームページ 澄住サポート 検索 <http://sumizumi.co.jp>

ハートで
サポート、
うれしい
サービス。



論壇・随想

大阪南支部創設60周年記念植樹祭 行事式典に寄せて

大阪南支部長 金村福寿(商昭56卒)

私が診療している時突然に有恒会副会長、運営本部長の福岡美彦氏(文昭32卒)より有恒会副会長に推薦されたと連絡が入りました。実はその何年も前に有恒会事務局から上本町6丁目の国際交流センターで行われる有恒会総会に出席する様に連絡があり参加しました。会場に入ると最後尾のテーブルに居られた森田秀朗氏(文昭49卒)は私に「おいはれ」と声を掛けて戴きました。その有り難い「おいはれ」の精神はそれ以後の私の同窓会活動の起点となりました。その後森田氏より同好会O-CUPの集まりに誘われて楽しい時間を沢山過ごす事が出来ました。森田氏と河添佳洋子氏(生昭48卒)、里田百子氏(商昭49卒)の3人が牽引しておられた様に感じました。その頃私は有恒会大阪南支部と同好会O-CUPとは同じ組織と思っていました。

しかし私が有恒会の副会長に就任してから環境が180度変わりました。有恒会の状況が十分に解らないままに参加した平成27年3月2日の大阪南支部第163回例会が大阪市立大学文化交流センターで開催され、その会議の中で支部長として長年尽力されてきた藤森貢氏(医昭30卒)から私に支部長を交代することが決まりました。恥ずかしながら受け継いだ大阪南支部長の活動も私の自覚の未熟さで活発な活動が出来ていませんでした。その様な状況の中、大学の有恒会組織も変革され、有恒会は有恒会として残しながらも全国にある有恒会支部は全学同窓会支部として組織は拡大し、新たな全学同窓会の事務局長に就任された上村修三氏(商昭53卒)は大きく旗を振り、私は櫂を飛ばされました。

再編第1回の同窓会大阪南支部総会は平成30年7月14日に開催され、医学部研究科長の犬畑建治教授が「私のグローバル戦略」と題して講演。第2回の総会は令和元年7月20日に開催、講演は市大商学部卒業後一念発起されて見事、司法試験に合格されたレジェンド弁護士、里田百子氏が講師に。翌年は新型コロナウイルス禍のために総会は開催できず、第3回の総会も今年4年3月5日に行われる予定が10月29日に延期となりましたが、この総会はまさに同窓会大阪南支部創設60周年を迎える行事と重まりました。

有恒会大阪南支部の設立は昭和36年9月28日、道頓堀「くいだおれ」で催されました。「くいだおれ」の社長の子息が市大出身で出席者は82人でした。当時は支部長制ではなく、幹事が世話役で例会を運営していました。以後多くの先輩方の愛校心で支えられ60年という長い年月を栄枯盛衰乗り越えて、私達の時代で迎えられる有り難さは感無量です。

折りしも重なった同窓会大阪南支部創設60周年記念、そして「ラスト市大」。大阪南支部の行事は荒川哲男学長(医昭50卒)、岡本直之同窓会会長(商昭45卒)、生野弘道医学部同窓会会長(医昭44卒)から多大なる賛同を得られました。大阪南支部の幹事会は60周年記念植樹祭行事式典を今年3月5日に市大魂で全身全霊を込めて開催しました。式典では「ラスト市大」の精神を込めて荒川学長、岡本会長、私の3人で高原記念館前に「市大ヤマザクラ」4本を植樹。「ヤマザクラ」の下では美しい花の姿を見て人々は思わず微笑み、楽しく歓談する青春の憩いの場所になることでしょうか。総会のメインイベントである生野先生の講演会「新型コロナ感染症 民間病院の闘い」は新型コロナウイルス禍で密を避けながらも約30人の聴衆者を集めて大好評でした。式典に集められた寄附は目標の120万円に達しました。ご参加、ご協力を戴いたOB・OGの同窓生のご尽力は「市大レガシー」となって新しく迎えた大阪公立大学に受け継がれて行くことでしょう。

五代友厚等が設立した大阪商業講習所を起点に140年に至る大阪市立大学で学んだ人達はこれからの100年も「恒心」を忘れる事なく歴史と伝統を「継承」し、「飛翔」の精神で邁進するという覇気があります。その状況の中、大阪市立大学の文化と世に大きく評価を受けている大阪府立大学の文化と名実共に令和4年4月1日に統合しました。

新生、大阪公立大学は質、学生数共に日本有数の大学と生まれ変わります。大阪市立大学同窓会大阪南支部はこの歴史的な流れを大きく視野に捉えて同窓会大阪南支部創設60周年記念植樹祭行事式典を催しました。やがて大きく成長する「市大レガシー」と成った「市大ヤマザクラ」の下に集まる市大、府大のOB・OG、在校生及び新生「大阪公立大学」入学生に対し杉本キャンパス1号館の100年の歴史を観詰めてきた時計台は静かに私達に語り掛けているでしょう。「大阪公立大学の新しい仲間を温かく応援しましょう」と。「賽は投げられた」(ローマ皇帝、ジュリアス・シーザーの言葉)

住まいと地域の夢をつなぐ

米原慶子(生昭58卒)

私が在学していた1980年前後、生活科学部棟3階の住居学科製図室には、一角に畳コーナーがあった。ビールケースを並べて古畳3枚を置いたもので、設計課題の締め切り前になるとみんなで徹夜し、そこで夜食を食べ、仮眠をとりながら作品を仕上げた。校舎の裏手にあった木工室で、椅子を作ったのも楽しい思い出。そんな学生生活の中、夢見ていたのは、将来の住まいの姿だった。

子供の頃、自宅の増改築をきっかけに、住宅やインテリアに

興味をもった。市大住居学科への入学を志望したのは、多くの卒業生が住宅の設計者として活躍しているのを知ったからだ。

当時、阿倍野区北畠にあった自宅は、祖父母が住む昭和初期の住宅の広い庭の離れに、父の好みで建てたモダンな家だったが、大学1年の終わり頃、事情により住み続けられなくなった。なすすべもなく大好きな家と庭を失った悲しみは大きく、以来いつか自邸を自分で設計してつくるのが、私の大きな目標になった。

3回生の集合住宅の設計課題では、「屋上菜園のある家」、「ぶどうHOUSE」といった緑と共生する住宅をテーマにした。卒論では住宅の庭の空間構成に関するテーマに、卒業制作では地域施設の設計に取り組んだ。卒業後は建築設計の道に進み、建築家のアトリエ事務所です実務経験を積んだ。その中で出会った現在の夫と設計事務所を営み、住宅をはじめ様々な建築設計に携わった。

自邸をつくる夢が叶ったのは、30代半ばだ。仕事中心の忙しい日々の中にも、ささやかでも庭のある暮らしを実現したいと思い、西宮の夙川近辺の比較的便利で緑豊かな住宅地に自邸を建てた。少ない予算で実現するために、いろんな工夫をした。敷地は周辺の地価より安い高台の傾斜した変形地を選び、姉夫婦と共同で3戸分をまとめて計画。立体的に集合化させることで、どの住戸も開放的で眺めのよい、専用庭のある住宅とした。学生時代に思い描いたように、屋上には菜園があり、季節ごとの花が咲き、ぶどうも実る。親族など3世帯が独立しながら隣居、共生するライフスタイルは、とても幸せなものになった。



自邸 3in1 Houseにて(2022/7)



その後私は、仕事の重点を教育に移した。母校での非常勤講師を経て、神戸の女子大生たちに住空間のデザインを教え、彼女らが住まいや地域の夢を描くのをサポートしてきた。

地域の夢を描きたいと思ったのは、阪神淡路大震災がきっかけだった。直後に何か少しでも役立ちたいと、まちづくりボランティアに携わったが、当時は無力感を感じるばかりだった。その後、日頃から地域と関わり、その場所の可能性を考え示すことが大事だという思いから、学生たちや建築家仲間と共に、神戸・みなと元町エリア、乙仲通界隈のまちづくり提案*などに取り組んできた。

いつしか年月が経ち、定年退職も近づいてきたが、市大住居学科で学び、培ったデザイン力で、これからも次世代に、住まいと地域の夢をつないでいきたい。

*乙仲通界隈プロジェクト

<http://www.jia-hyogo.jp/otsunaka.php?id=20>

医療法人 福寿会

かねむら歯科医院

理事長 歯学博士 **金村 福寿**

大阪市立大学 有恒会 副会長
大阪市立大学 同窓会 大阪南支部 支部長
(大阪市立大学商学部昭和56年卒)
(朝日大学歯学部卒)

大阪歯科大学 元非常勤講師
明海大学歯学部 元非常勤講師
日本老年歯科医学会 専門医・指導医

専務理事 金村 光野

歯学博士 金村 直子

医学博士 金村 晋吾

医学博士 金村 英利子

理事 金村 舜

理事 金村 晋ノ佑

〒544-0004 大阪市生野区巽北2丁目17-15

Tel.06-6752-8148

ゴーツー ハイシャ

(介護予防) 特定施設入居者生活介護 サービス付き高齢者向け住宅 **福寿**

“安全安心な介護で笑顔の福寿”

ゆったりとした「二人部屋」もございます。

ご夫婦で自由に、都会生活を楽しませんか。

看護師常駐



〒544-0004 大阪市生野区巽北2丁目13-14

Tel.06-6752-2910

ゴーツー ふくじゅ



同窓短信

HACCP制度化を 良い会社作りのきっかけに

青森誠治 (生平14卒)

大学卒業後、洗剤メーカー勤務を経て2020年に独立開業しました。事業内容は食品衛生全般のコンサルティング、食品衛生7S(整理・整頓・清掃・洗浄・殺菌・躰・清潔)の推進、ISO22000やFSSC22000、JFS規格などの食品安全規格の取得支援です。幸い、色々なお客様とのお縁をいただき、全国各地を飛び回って活動しています。



国内では食品衛生法改正により全ての食品等事業者がHACCP(ハサップ)に基づいた衛生管理を実施しなければならなくなりました。コロナ禍の影響もあり、飲食店や小規模の事業者ではまだまだ導入が進んでいないのが現状ですが、今後、保健所から取り組み状況の確認が行われますし、取引上の要件として食品安全規格の取得が求められるなど、食品安全に関する注目度は増えています。

食品安全の取り組みは経営戦略上重要な武器となりますし、真面目に取り組めば必ず会社が良くなります。これからも食品衛生の向上と安全・安心な食の提供を陰から支えていきたいと思えます。

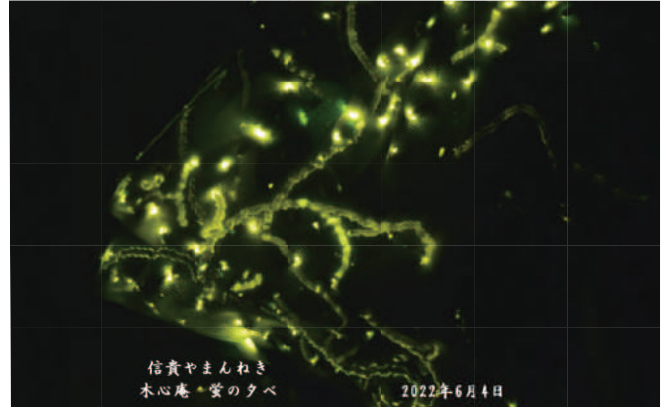
ホタルの夕べ IN 木心庵に参加して

上村修三 (商昭53卒)

嶋野義夫さん(商昭49卒)から、令和4年6月4日に開催される『ホタルの夕べIN木心庵』の案内=写真①=が届いたので、大阪市立大学同窓会大阪南支部及び第7回日中大学学生文化

交流展実行委員会有志12人=写真②=で参加した。

嶋野さんがオーナーの木心庵(もくしんあん)は、高安山や信貴山のふもとにある自然豊かな邸宅を改装した素敵な施設で敷地は2200坪。13年前からボランティア仲間が施設整備に取り掛かり、延べ6000人の力で、現在の姿になったという。現在は、地元の方を中心に100人余のボランティアで、木心庵を維持管理しているとのこと。



①



②

「ホタルの夕べ」は5、6月の4日間開催。源氏ホタル、平家ホタルが1000匹放たれ、4日間で延べ600人余、6月4日は160人余が参加した。当日、蛍の里ガイドツアーが実施され、世界最大の灯籠、古墳跡、山城跡、スー族テント、ゲルなどを見学し、大阪湾に沈む夕日を拝んだ後、いよいよ能舞台に集まった参加者一人一人に源氏ホタルが手渡されると嶋野さんの号令で消灯となり周囲が暗闇につつまれると、参加者の差し伸べた指先からホタルが放たれ、周囲はホタルが舞う幻想的な世界が醸し出された。



山口法律会計事務所

所長 弁護士 **山口 健一**
(法学部 昭和49年卒)

事務所 〒530-0047
大阪市北区西天満1丁目7番20号
JIN・ORIXビル6階

TEL. 06-6361-3234 FAX.06-6361-0096
E-mai office@yamaguchi-law.jp
URL : <https://yamaguchi-law.jp/>

人と電気をつなぐ



ニシムラ株式会社

代表取締役会長 蔵岡 一彦
(昭和40年 経済学部)

本社/〒601-8104 京都市南区上鳥羽角田町32
TEL : 075-681-2331 FAX : 075-671-1041
営業所 : 京都府7 滋賀県5 東京都1 愛知県1 大阪府1
<http://www.nsmr.co.jp>

有賀敏之先生の著書『中国の危機と世界』出版記念書評会に出席して

安藤根八(創院平30修)


令和4年6月24日、梅田キャンパスにおいて、経済学部で世界経済論を担当されている有賀敏之先生のご著書『中国の危機と世界—強権国家・終わらないバブル・人民共和国崩壊』(本誌「同窓生の図書紹介」欄参照)出版記念書評会に出席した。



出版お祝いの花束を受け取る有賀先生

有賀先生には社会人大学院創造都市研究科で教えを受け、以来7年間のお付き合いのある恩師。すでに十数冊のご著書があるが、今回は初の一般向けの著作であり、中華人民共和国の崩壊を本格的な学術的分析を踏まえて予言した同書は、「刊行前の予約段階からAmazonの関連ジャンルにおいて第1位を獲得している」(有賀敏之ウィキペディア)。

教授に薫陶を受けた教え子、現役生30人が集まり活発な議論となった。多数の参加申し込みがあったが、コロナ禍のために参加人数を制限しなければならなかったことは残念至極だった。



開発・検証エンジニア


iTestは身近な家電製品や専門性の高い産業機器まで、組み込みソフトウェアの開発・検証を専門とする企業です。

改正電帳法対応版「Secure文探/Light」販売開始!!

2022年1月に施行された改正電子帳簿保存法。
こちらに対応した文書管理システム「Secure文探/Light ver1.3」の販売を4月からついに開始!! 国税庁推奨商品”JIIMA”認証取得!!
【圧倒的な価格】【圧倒的な機能】【完全売り切り型】
ご興味のある方はぜひお気軽にお問い合わせください。

〒532-0011 大阪市淀川区西中島5丁目8番3号 新大阪サンアールビル北館605号
株式会社iTest 代表取締役社長 上島 健二

TEL : 06-6838-7127 URL : <https://www.itest.co.jp/>



この文探ページは



Mie Kotsu Group

三重交通グループは、安全、安心、安定、快適なサービスの提供を目指します。



不動産業

名古屋三交ビル



運輸業

貸切デラックスバス「浪漫II」
貸切バス「DREAMシリーズ」
三重交通 路線バス



レジャーサービス業


御在所ロープウェイ
鳥羽シーサイドホテル
三交イン京都八条口




流通業

東急ハンズ名古屋店 (三交クリエイティブ・ライフがFCで展開)

● 運輸業 三重交通株式会社 名阪近鉄バス株式会社 三交伊勢志摩交通株式会社 三重急行自動車株式会社 八風バス株式会社 株式会社三交タクシー
● 不動産業 三交不動産株式会社 株式会社三交コミュニティ 株式会社三交不動産鑑定所
● 流通業 三重交通商事株式会社 株式会社三交クリエイティブ・ライフ 株式会社三交シーエルトゥー 三重いすゞ自動車株式会社
● レジャーサービス業 株式会社三交イン 鳥羽シーサイドホテル株式会社 三交興業株式会社 御在所ロープウェイ株式会社 株式会社三重カンツリークラブ 株式会社松阪カントリークラブ
 名阪近鉄旅行株式会社 株式会社三交ドライビングスクール ミドリサービス株式会社 三交ウェルフェア株式会社 三重県観光開発株式会社


三重交通グループホールディングス株式会社
 〒514-0032 三重県津市中央1番1号 <https://holdings.sanco.co.jp>



三重交通グループアプリ

支部だより



千葉支部総会 ―これからの大阪公立大学

とき： 令和4年5月21日(土)

ところ：アパホテル東京ベイ幕張

来賓、会員ら25人の出席のもと千葉支部の総会が開催された＝写真＝。

支部長挨拶では、コロナ感染が収まりきらない中での開催実現は本部のご支援、関係者の努力の賜物であるとし、活動報告として五代友厚公の北海道開拓使官有物払下げに絡んだ汚名を晴らすべく展開している署名活動が高校歴史教科書修正に向けた動きに繋がっていることを披露した。さらに、大学統合によって国公立大学第3位の規模となる大きな総合大学になったが、世界大学ランキング200位以内を目指し、大阪大学を超えることを目標に掲げていること(現状は東大と京大のみ)、同時に新大学のブランド力、存在感を高めるべく社会的認知度の向上や見た目も重要であり、五代友厚公

を新大学のシンボルとして前面に押し出し大阪公立大学と言えば五代友厚公がイメージされ、西の早稲田大学と呼ばれるような存在になるべきとの意見が披露されました。

有恒会の小林俊介副会長からは、11学部1学域、学生数1万6000人を超える大きな新大学になり、府大の農学部や獣医学部など特色ある学部が加わり文系、理系、医系と非常にバランスの取れた大学になることや、同窓会統合の流れについてなどの説明がなされた。会員からは新大学名に関しての不満も含め多くの質問が寄せられた。

辰巳砂昌宏大阪公立大学学長のビデオメッセージ披露のあと茶話会に移行して懇親が行われ、矢野憲治副幹事(商昭46卒)の閉会の辞では、共に杉本町で学んだことを大事にして今後更に懇親の輪を広げるべくゴルフ、会食、トレッキングなどを計画していくことの披露があり散会した。 福田和記(商昭46卒)



ホームカミングデーに参加して

2021年11月3日に行われた第20回ホームカミングデーにリモート参加＝写真＝しました。

第1部の荒川哲男学長による新大学構想、森之宮キャンパスに全学の基礎教育課程を集めることなどの説明があり、壮大な構想で、どのようなキャンパスになり、学生の皆さんがどのように活動されるのか楽しみです。「新・五代友厚伝」著者の八木孝昌先生の説明では五代友厚にかけられた疑惑が濡れ衣であったということがよく分かりました。しかし一度着せられた濡れ衣を晴らすということはなかなか厄介なものですね。

第2部では、東京有恒会によるグループ同窓会がリモート形式で行われ、ルームの管理・運営を今駒哲子さん(理昭58卒)、司会を前田寿雄さん(商昭49卒)に行っていただきました。大先輩の1955年卒業の河本親秀さん(商昭30卒)から1990年卒業の北野好浩さん(文平2卒)まで幅広い年代層から14人が参加されました。

グループ同窓会は自己紹介と近況報告から始まり、その後個別のテーマとして「大阪公立大学への移行について」「大学統合後の同窓会の在り方」など活発な意見交換が行われました。ここでは日ごろから感じていること、こうあって欲しいと思うこと、大阪市立大学が世の中からどんな評価を受けているか、全国の高校生が行き

たいと思うような大学にするには、等々いろんな意見、アイデアが出ました。

最後に集合写真を撮ってお開きとなりましたが、3時間みっちり懇談ができた有意義な同窓会であったと思います。

結論が出たわけではありませんが、参加者の母校を思う熱い気持ちはひとつであるところは一致していました。今春、大阪公立大学が発足しました。東京有恒会は新大学の発展をサポートしてまいります。 諏訪頼久(理昭45卒)



京滋支部総会 —観光船ミシガンでの定期総会

とき： 令和4年6月4日(土)

ところ： 琵琶湖汽船ミシガン「ミシガンダイニング」

有恒会京滋支部の定時総会が、就航40周年を迎えた琵琶湖汽船ミシガンの船内「ミシガンダイニング」にて、大阪府立大学OB(経昭52卒)の吉田亨司(よしだ・たかし)氏をゲストに迎え、総勢27人(同伴者含)で開催されました=写真=。



総会は、乗船時間が90分という少し慌ただしい中で、食事をしながらの開催となりましたが、藤野正純支部長の挨拶から始まり、議案も滞りなく審議承認されました。

その後、辰巳砂昌弘大阪公立大学学長からのビデオメッセージ、岡本直之有恒会会長からのご挨拶(代読)が披露され、感染対策をしながらの懇親会に入りました。この日は晴天にも恵まれ、琵琶湖からの絶好の景色を楽しみました。

恒例の逍遙歌の合唱は、感染対策のため、ユーチューブから流れる歌を全員で聞くことに変更され、定期総会は閉会となりました。

上田雅弘(商昭59卒)

大阪南支部創設60周年記念 植樹式典開催

とき： 令和4年3月5日(土)

ところ： 高原記念館前及び高原記念館

大阪南支部創設60周年を記念して高原記念館前にて「市大ヤマザクラ」4本を植樹し、記念植樹プレートを設置した=写真=。金村福寿支部長の発案によりプレートには、「市大で学ぶところを人間わば朝日に匂う山桜花」が刻まれた。植樹式典では、荒川哲男学長、岡本直之同窓会会長、金村支部長による鍬入れ式があった。記念講演会では、「新型コロナウイルス感染症 民間病院の闘い」と題して生野弘道医学部医学科同窓会会長よりご講演い



家事相続・不動産・民商事法務・企業法務・事業再生・事業承継・M&A・特許知的財産・
国際的ネットワークを利用した海外法務まで実践的なワンストップサービスを提供



弁護士法人 中央総合法律事務所
CHUO SOGO LAW OFFICE, P. C.

代表社員会長弁護士 なか つかさ 中務 嗣 治 郎

大阪事務所 〒530-0047 大阪市北区西天満二丁目10番2号
幸田ビル11階(受付5階)
電話(06)6365-8111(代) FAX(06)6365-8289(代)

東京事務所 〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号
日比谷国際ビル18階
電話(03)3539-1877(代) FAX(03)3539-1878

京都事務所 〒600-8008 京都市下京区四條通烏丸東入ル
長刀鉾町8番 京都三井ビル3階
電話(075)257-7411(代) FAX(075)257-7433

ただいた。講演では、少子高齢化社会における地域病院の未来像についての紹介があり、社会医療法人弘道会(生野理事長)の目標―地域包括ケアシステムを構築し、救急・急性期入院への完全対応や介護・看護の24時間体制の確立―が披露された。

大阪南支部では、このタイミングに『大阪南支部創設60周年記念誌』を発刊、10月29日に高原記念館にて大阪南支部総会を予定している。

上村修三(商昭53卒)



“山桜の樹”植樹式で記念撮影

鹿児島支部総会 ―五代友厚を機に2年半ぶりに開催

とき： 令和4年5月28日(土)

ところ： 高温泉ホテル 中原別荘

今年1月に五代友厚シンポジウムが行われその後、薩摩藩英国留学生記念館での五代友厚展を機に、第8期鹿児島支部同窓会総会が2年半ぶりに開催されました。



総会のメインは、ドキュメンタリー映画「赤き心」の作成過程の説明と上映会で、翌日には展示会見学も行われました。五代友厚は大阪の恩人のみならず、日本の資本主義の基礎を醸成した人物との評価を交え、NHK大河ドラマで取り上げて欲しいとの意見が交わされました。『新・五代友厚伝』の著者、八木孝昌先生からは間もなく集大成される五代友厚シンポジウムの冊子についてのお話がありました。

また、原口泉鹿児島大学名誉教授からのご協力もいただき、鹿児島大学でも大阪市立大学の活動をきっかけに、広く鹿児島の「近現代史」研究を進めていく事をお聞きいたしました。

今回は少人数(会員5人、来賓3人)の総会=写真=でしたが、辰巳砂昌弘大阪公立大学学長のメッセージや、北村吉文有恒会副会長より大阪公立大学の現状や、同窓会の将来についての資料やお話をいただきました。

遠い鹿児島で、貴重な情報交換会が無事執り行われましたことに感謝申し上げます。

中村俊久(商昭47卒)



\ 京銀アプリで /

銀行取引をもっとベンリに!



口座開設

残高照会

振込振替

税金・各種料金払込 (Pay-easy)

投資信託 外貨預金

等

まずはダウンロード



京銀アプリ



京都銀行

(2022年7月1日現在)



卒業生の皆様へ

最寄の支部にご加入をお願いします。

・氏名・卒業年・卒業学部・加入希望の支部名 明記のうえ下記アドレスまでメールにて申込をお願いします。

aalumni@ado.osaka-cu.ac.jp 支部担当：世瀬

申し込ただけでしたら、各支部長より、入会案内のご案内させていただきます。

大阪市立大学同窓会・有恒会 支部連絡先一覧(国内・海外)

2022年8月末現在

No.	国内・支部名	支部長・会長 幹事代行、事務局長など	学部卒年	No.	国内・支部名	支部長・会長 幹事代行、事務局長など	学部卒年
1	北海道支部	幹事長 矢橋潤一郎	経平6	20	神戸支部	支部長 梅村 晋一 竹本 昌弘	法昭55 法昭53
2	東北支部	支部長 石橋 信勝 早川 公康	法昭44 生院平10	21	宝塚支部	支部長 原木 文吉	商昭43
3	埼玉支部	支部長 沖津由紀子 村岡 健治	理院昭51 経昭45	22	姫路しらさぎ支部	支部長 松浦 康裕 吉備 文昭	経昭50 商昭51
4	千葉支部	支部長 福田 和記	商昭46	23	奈良支部	支部長 高橋 敏朗 一柳 茂	営修昭43 商昭49
5	東京支部	支部長 諏訪 頼久	理昭45	24	有恒会 和歌山支部	支部長 小佐田昌計 大岩 宏	法昭43 法昭59
6	横浜支部	支部長 森 聡彦	経昭59	25	有恒会 岡山支部	支部長 小野健太郎	商平 5
7	湘南支部	支部長 植嶋 平治	商昭51	26	有恒会 広島支部	支部長 井上 道 河合 直人	法平 3 法平11
8	静岡支部	支部長 山本 義彦	経博昭48	27	有恒会 福山支部	支部長 塚本 義政	法昭53
9	富山支部	支部長 栗島 憲治 齊藤 賢治	商昭52 商昭54	28	山口支部	支部長 吉田 慈孝	理修平11
10	石川支部	支部長 伊藤 光明 宮本 和美	経昭49 商昭56	29	山陰支部	支部長 梅林 広志	商昭49
11	福井支部	支部長 和田 龍三	経昭49	30	香川支部	支部長 高木 孝征	商昭51
12	愛知支部	支部長 滋野 公彦 奥田 篤志	経昭59 経平 1	31	徳島有恒会	支部長 大平 恒己 沢田 久志	経昭41 商平 6
13	三重支部	支部長 北村 純一 小川 秀幸	経昭46 法平2	32	愛媛支部	支部長 曲田 清維 浮田 泰昌	生院昭52 経昭54
14	有恒会 京滋支部	支部長 藤野 正純 上田 雅弘	商昭51 商昭59	33	福岡支部	支部長 藤本美佐子 棟居 秀信	生昭47 商昭52
15	有恒会 大阪北支部	支部長 小林 俊介 甘田 外成	法昭44 経昭40	34	大分支部		
16	大阪南支部	支部長 金村 福寿 崎山 光友	商昭56 商昭50	35	長崎支部	支部長 古河 幹夫 飯田 清親	経昭52 法昭51
17	北摂支部	支部長 池上 隆彦 中尾 浩己	医昭40 商昭42	36	熊本支部	支部長 鳥飼香代子	生昭46
18	南大阪支部	支部長 頓花 修二 古下 政義	商昭54 法平 3	37	宮崎支部	支部長 橋口 律男	法昭49
19	北河内支部	支部長 梶巻 正男 濱中 嘉之	理昭45 創都修平26	38	鹿児島支部	会 長 平田 宗興 支部長 中村 俊久	医昭46 商昭47
				39	沖縄支部	支部長 天願 勇 目加田博史	医昭47 商昭53

海外・支部名	代表者	学部卒年
上海支部(上海友好会)	奥田 洋一	工平9
台湾支部	田村 圭介	商昭62
香港支部	森實 章	法昭55
バンコク支部	鈴木 裕介	法平16

海外・支部名	代表者	学部卒年
クアラルンプール支部	沼 裕子	経平7
シンガポール支部	岸本 亮	工博平21
ニューヨーク支部	天尾 嘉宏	経昭61
ホーチミン支部		

海外・支部名	代表者	学部卒年
ジャカルタ支部	津田 俊宏	商昭55
ハノイ支部		

会員のひろば



杉本クラブ第6回オンライン交流会開催 「旬」のスピーチで話題尽きず

杉本クラブ第6回(第66回定例会)オンライン交流会は8月28日に開催、11人が参加した=写真=。今年1月と5月にも開きオンラインでの交流を深めている。

今回のテーマは「コロナ禍」の盆休暇。帰省がままならず、また子供、孫にも会えない3年目のお盆ということで、次第に家族の絆が薄れていくことの危機感を持っているとの話しが多く出た。コロナ禍に留まらず、ウクライナや旧統一協会問題、地球温暖化などにも話題は及んだ。

一方、お盆は家族が揃う良い機会でワクチン接種のお陰で、今年は墓参りも出来たとの発言も見られた。お盆の話題を転じて、墓仕舞い、我が身の葬儀法の話もあって、この時期ならでの「旬」のスピーチで2時間が瞬く間に過ぎ去った。

前田寿雄(商昭49卒)



宮本背広ゼミナール研究会 『未来への航跡』出版記念研究会開催

とき： 令和3年12月11日(土)

ところ： 京都・リノホール

昨年12月11日、宮本背広ゼミナールでは、この年の夏に出版された、宮本憲一先生卒寿記念の書籍『未来への航跡 環境と自治の政治経済学を求めて』の出版を記念し、宮本憲一名誉教授と経済学部の斎藤幸平准教授(当時)との対談を実施しました=写真=。ジャーナリストの佐々木実さん、神戸新聞文化部長兼論説委員の加藤正文さん(商昭62卒)を聞き手に、「資本主義は“第三の危機”を乗り越えるか—『環境と自治』からの未来図」をテーマに対談が行われました。



新自由主義以後の資本主義はどうなるのか、今後の資本主義の下で、地球環境の危機が解決可能なのかという宮本先生の問題提起を出発点に対談が進みました。宮本先生は、共同社会の基盤についての経済学を研究してきた歩みを中心に、斎藤先生は、マルクスの思想研究の立場から、脱成長を視野に入れた社会構想の展望を中心にお話されました。立命館大学の森裕之教授(経営学研究科)からのコメントもあり、3時間半があっという間でした。

宮本先生の卒業生を中心とした「背広ゼミ」では、コロナ禍以降も対面とオンラインを併用するなど工夫しながら、ほぼ毎月ゼミを続けています。オンライン併用のおかげで、今回の対談には、北は宮城県、南は沖縄県と様々な地域からも参加いただき、全体で30人を超える盛会となりました。

栗本裕見(法平10修)

注目度急上昇! 硬式野球部が「お披露目会」

とき： 令和4年7月9日(土)

ところ： 大阪・上本町のホテルアウィーナ大阪

大学統合以来、テレビや新聞に数多く登場している大阪公立大学硬式野球部は、新チームの「お披露目会」を7月9日に大阪市内で開催しました=写真=。

感染症拡大予防のため人数を絞り、現役部員代表と市大、府大両硬式野球部OB、関係者ら約40人が参加。内野政美・市大硬式野球部OB会長(経昭51卒)が「現役とOBが同じ理念を共有し、全国大会出場を目指そう」とあいさつした後、池山尚高学生課長の発声で乾杯し、チームの前途を祝しました。

同じリーグに所属するライバルで、歴史も風土も対照的な市大と府大の統合は社会的に大きな話題となり、4月25日には関西テレビ「報道ランナー」が特集コーナーを放送。続いて5月27日に読売新聞、6月1日産経新聞、6月30日朝日新聞(いずれも夕刊)と、ひと月あまりの間に一般紙が3度も硬式野球部の話題を取り上げるなど、注目度は急上昇しています。

出崎敦史(文昭58卒)



八起会3年ぶり開催

昭和48年商・経済学部卒業生中心の「八起会」が令和4年7月1日、東京駅一番街のレストランで開催された。新型コロナウイルス感染懸念から遠ざかっていた対面会合を解禁し、10人が集まった＝写真＝。



この3年間どのようにコロナ禍を過ごしてきたのかが話の中心であった。ある人は奥さんとの距離の取り方に腐心したが、料理・洗濯・家事を積極的に手伝い評価を上げた、趣味を伸ばし在宅時間を少なくし奥さんのストレスを減らした等々、夫婦関係円滑策の話題が多かった。自己マネジメント力と免疫力の高いメンバーばかりなのか、以前より俄然元気旺盛なのには驚いた。

実はメンバーの高齢化で会の存続を話し合う予定であったが、そんな話を切り出すのが憚れるほど宴が盛り上がり、自然な流れで会の継続が決定した。今回残念ながら不参加の方々、次回は是非ご参加下さい。 吉田稔(商昭50卒)



森下会計事務所

所長 税理士 **森下 豊**
(商学部 昭和47年卒)

事務所

〒532-0011 大阪市淀川区西中島5丁目12番8号
新大阪ローズビル 303
TEL. 06-6308-2802 FAX. 06-6308-2151
E-mail: morisita@apricot.ocn.jp

私たちの今が、社会の未来を創る

Create Value, Build the Future

社会情勢の変化に対応する「しなやかさ」、激しい時代の潮流を掴む「俊敏さ」
志を持って自身の成長を求める「自分らしさ」、地に足をつけて着実に前進する「一歩先へ」
これらは私たちが実践する行動スローガンです。
私たちは今、この時の行動ひとつひとつを大切に、
これからの社会に新たな価値を創造し、ステークホルダーのみならずともに
未来の社会に貢献し続けることを約束します。



Toyo Suisan Ishikari
Distribution Center
Hokkaido, Japan 2020

Reclamation of Pulau Tekong
Singapore 2015

Improvement of
National Route 45 at Sakanoshita
Iwate, Japan 2020

 **東亜建設工業**
TOA CORPORATION

代表取締役 社長
早川 毅

1989年(平成元年)
大阪市立大学 工学部卒

〒163-1031 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー www.toa-const.co.jp

コーポレート
メッセージを
策定しました。



読者の声

文化芸術学部の創設を

大阪公立大学開学おめでとうございます。統合業務にご尽力されました関係者の皆様にお祝いを申し上げます。

第3次大阪市文化振興計画では「文化共創都市大阪～文化芸術が未来を切り拓く」を目指す将来像として掲げていますが、大阪市は文化自由都市だと思ふ市民の割合が17.8%の現状では多難です。文化芸術を創造する人材の育成が必要です。新大学の文化・芸術、国際交流機能の先導役として、文化芸術学部の創設を提案します。

文化芸術学部は①国際文化学科②芸術文化学科③文化政策学科④美術科⑤デザイン科⑥工芸科の構成案です。①はグローバル文化、②は表現文化(美術史・音楽・演劇・映像等)、③は文化資源(表象文化・観光学等)・政策、④は絵画(油画・日本画)・彫刻、⑤はデザイン(視覚・製品・環境・映像)、⑥は工芸(陶磁・木工・金工・染織)。モデルは静岡文化芸術大、神戸大、富山大、筑波大、金沢美術工芸大、尾道市大等です。

森之宮キャンパスに隣接が予定される「親水空間+立体活用ゾーン」は、彫刻・デザイン・工芸を発表する良き会場となるでしょう。公募展の関係で上野公園の散策をはじめ20年になります。『最後の秘境 東京藝大』(二宮敦人著・新潮文庫)に描かれるような学生が活動する姿は、大阪の景色を変えます。

田中徹也(商昭55卒)

角帽時代と角帽の威力

この写真は半世紀前にゼミ仲間と休暇旅行をした時の写真です。



当時は角帽を被って出かけるのが普通でした。角帽を被っているだけで、お店のサービスが良かった。買い物をして安く買えるので、旅行には必需品でした。普段は新しい帽子を靴磨きで磨いて古く見せることもしていました。この写真に見覚えのある人、角帽の思い出を知らせてください。写真提供します。

鳥居貞義(商昭34卒)

五代友厚研究会と天商同窓会役員との会合を開催

今年1月22日、大阪市立天王寺商業高校同窓会役員の方々に田中記念館3階会議室までお越しいただき、2021年9月1日の訪問時に申し入れた3点について、次の通りご回答をいただきました。

①大阪ビジネスフロンティア高校で五代友厚関連の授業をしていたらいいか。

回答:併合した他の2校(旧市岡商業、旧東商業)とのバランスがあるので、五代友厚公が商都大阪の復興に尽力したという切り口であれば、授業は可能であると考えている。

②天商同窓会で五代友厚講演会を開催していただけないか。

回答:現在コロナウイルスの関係で同窓会の総会が行われていないが、もし行われるのであれば、五代友厚講演会は可能であると考えている。

③山田庸男会長に官有物払い下げ説を見直す会の発起人の一人になっていただけないか。

回答:同窓会会長としての立場があるので、役員会で一度審議する必要があります。

当日は関西テレビ取材が入り緊張しましたが、五代友厚公が商都大阪の復興に尽力したという切り口を提示いただくなど、会合は大変有意義なものでした。

五代友厚研究会 中居拓海(商1)
(学年は当時)

橋村公英・東大寺別当の講演を聴いて

東大寺別当、橋村公英様のご講演で、現在の東大寺の大仏殿は宝永6年に完成し、損傷した大仏様も修復されたと知りました。当時日本は世界有数の銅生産国であり、その中心は大阪の島之内で、寛永年間に住友家2代・友以様が開かれた銅精錬所でした。この住友銅吹所は日本最大の銅精錬所、その製品である棹銅は海外にも輸出されていました。その高品位の銅が大仏様修復に用いられたと、国富論での記載から推察いたします。

「The most productive mines in the world affect global prices. The price of copper in Japan in a significant influence on the price of the commodity in Europe」(Adam Smith Wealth of Nations in 1776)。

聖武天皇が大仏様の鑄造を発願して以降、仏教の発展とともにその金属の製錬・精錬・鑄造技術が伝承され、多くのイノベーションを経て、住友の銅吹き技術に繋がりました。その住友精錬が繁栄し、江戸時代、大阪は経済の中心に至りました。東大寺のような寺社は仏教を伝えるとともに文化継承の砦であり、その文化財の再建や修復の技術を後世に伝えることは大切だと感得いたしました。

その神仏への信仰心及び文化財

伝承の精神が、日本の伝統文化を後世に伝え、それらの建築や金属精錬・鑄造技術等の伝承になります。その過程でイノベーションが誘発され、技術が進化し文化とともに国が発展します。

現在、日本の時代要請としてグローバル化の中、脱炭素化の将来を見据え、DX推進とクリーンエネルギーの創出が求められています。

す。その手段である太陽電池、電気自動車等の実現と実装の過程である、あらゆる金属の産出から加工にいたる一連のイノベーションが必要となります。

そのためにも大仏様発の文化財再建や修復の技術継承が大阪市立大学から大阪公立大学に引き継がれ、創出された総合知により導かれる「万代福業の継承」として、かつてア

ダム・スミスが言及した住友銅精錬のような世界に誇るイノベーションが関西に確立され、世界が認める脱炭素化事業のサービス・製品ブランド、発祥の地となり一切衆生と万物が救われるSDGs持続可能な社会が実現されるように祈念いたします。

高野勝行(商平13卒)

遺言・相続 借家・ガレージ賃料回収・立退

大小路法律事務所

大阪弁護士会所属

弁護士 保田 友久 (法平20卒)

弁護士 保田 友大 (法平21卒)

事務所 〒590-0075
堺市堺区南花田口町2丁3番20号
三共堺東ビル9階
TEL 072-275-8777 FAX 072-275-8780
URL : <http://oshoji-law.main.jp/>

進取と共創。ガスで未来を拓く。
The Gas Professionals



日本酸素ホールディングスグループ

大陽日酸株式会社

東京都品川区小山1-3-26 www.tn-sanso.co.jp

Straight to the Future



角島大橋(山口県)

 オリエンタル白石株式会社 www.orsc.co.jp

〒135-0061 東京都江東区豊洲五丁目6番52号
TEL: 03-6220-0630(代表) FAX: 03-6220-0634

読者の作品

作品名: 荒磯の海辺(開高健「瓶のなかの旅」より)

2022年7月 第73回毎日書道展出品作

(サイズ 120×90 cm)

作者: 佐藤博之(経昭37卒)毎日書道展会友

釈文:「荒磯の海辺 羅臼は背が山で腹が海だという狭い狭い荒磯の町だ」

開高健先輩は、釣り糸を垂れながら発する珠玉のことばが、そのまま書きことばになり本になりそうに思える、稀代の文章家でした。大のファンです。

茅ヶ崎市にある開高健記念館を訪れました。書斎からは多彩で博覧強記、饒舌なことばの束がゆらゆらと湧きあがり匂いたつようでした。その力をもらいたいとの思いで書きました。



同窓会田中会館入口絵画「群像」について

私は昭和43年商卒の原田利明と申します。でも美術部青桃会卒の方がいいかもしれません。私の絵画はそこから始まりました。そこで飯田順雅先輩に手解きを頂いたのが始まりでした。社会人になっては青桃会展には時々出品しましたが本格的には2013年新世紀美術協会公募展に出品してからです。

その時、私は70歳からの自分の最終章には新しい挑戦をして終わりたいと思いました。それで絵描きを選んだのです。初めはすんなり入賞を重ねて行き2018年(平成30年)、吉村洋文大阪市長から大阪市長賞をいただきました。私は大阪市大出身なので名誉な事で市大同窓会からも推薦され、当作品を同窓会に寄贈させて頂ければと思いました。

この画題の「群像」は人生での人と人の出会いを意味し、私を育てていただいた奈良三郷町の特産品雪駄をモチーフにしました。田中会館にお越しの時には入り口左手に飾って頂いていますのでご覧下さい。

最後に私のモットーは「目標のある挑戦と相手を思いやる心」です。もう少し最後の人生を楽しみたいと思っていますので宜しくお願い致します。有難う御座いました。

原田利明(商昭43卒)




すばるスチール株式会社

鋼材加工製品のワンストップカンパニー
小ロット・多品種・短納期の先へ!
Enjoy processing steel!

本 社 : 大阪市浪速区湊町1-4-38 近鉄新難波ビル11F
TEL 06-6635-2330
<http://www.subarusteel.co.jp>

事業所 : 大正物流センター(大阪市)
関東支店(伊勢崎市)
九州営業所(福岡市)

*詳しくはHPで

SUBARU STEEL Co., Ltd

美術印刷・企画デザイン・フォト **NP**

ご提案・創造それが私共の商品です。
Presentation & Creation

株式会社 日本プリンティング

代表取締役 大西基勝 (商昭52卒)
〒537-0002
大阪市東成区深江南2丁目13番17号
TEL (06) 6981-5566 FAX (06) 6981-5083
<http://www.nihonprinting.co.jp>



同窓生の図書紹介

実録・昭和のサラリーマン

鳥居貞義 (商昭34卒)

15冊目の自費出版図書となりました。テーマは『昭和のサラリーマン実録』です。私は現在85歳です。で88歳の米寿記念に上梓することを目標に日本自費出版賞を狙っていたのですが、体力の事もあり3年繰り上げることになりました。

本書発行の目的は「まえがき」において、昭和のサラリーマンの実態を歌だけでなく記録として残すことであることを明記しています。頒布方法は近江商人の「三方ヨシ」です。詳細は「あとがき」で次のように説明しています。「作家のことを家を作る、と書きますが、その由来は知られていません。作家の仕事は書を書くだけでは完結しません。書いたものを広く読んでもらう必要があります」。

(パレード、2022年2月、1650円+税)

著者記



ある老学徒の手記・改定増補版

鳥居貞義 (商昭34卒)

4月4日は鳥居龍蔵博士の誕生日でした。生誕152年です。記念行事も考えましたが、ご承知のようにコロナの問題もありましたので、記念行事として鳥居龍蔵博士の錦著『ある老学徒の手記』(朝日新聞社刊)の完結編を改めて、特に若い人に読んでいただきたいと考えています。

「ある老学徒の手記」の初版本には燕京大学時代は入っていません。南米編も入っていません。鳥居龍蔵は結語の中で以下のように書き残しています(原文のままです)。

「私の生まれた明治3年4月4日から昭和9年までの自叙伝を書きました。その後の事、即ち南米における人類学・考古学取り調べ旅行や、北米のまた斯学上の事項から大正14年中華民国北京燕京大学に招聘せられさては、中京となり昭和26年12月7日帰国する間での記事は紙面の都合上記す能ず、これはやむを得ないから別編として発行することにした」。

(ネスト企画、2006年10月、2000円+税)

著者記



「敵対型文明」と「温和型文明」

青木育志 (法昭46卒)

本書は比較文明論の本です。他の比較文明論と違うのは文明を隔てるキー・ファクターとして常に異民族に攻められ、攻めたりする環境にあるかどうか、を重視する点にあります。具体的指標としては戦略、戦術が発達しているか、スピーチ、ディベートが発達しているかが問題となります。



キー要素が発達している文明は、常に異民族に攻められ、攻めたりする環境にあるので「敵対型文明」であり、ユーラシア大陸の西洋、中近東、インド、中国の全文明がそうであります。それに対し同大陸の外にある日本では、攻められ攻めたりする環境にはなく、キー要素が発達しておらず、「温和型文明」ということになります。

前者は戦略に秀で議論で政治を決し「原則」で社会を律し、一神教などで心を安んじます。後者は戦略に能天気であり議論で政治を決せず、「人間」で社会を律し、日本教で心を安んじます。前者は全地球的に多数派であります。後者は少数派ですが、人類の理想であります。

(アジア・ユーラシア総合研究所、2021年11月、1800円+税)

筆者記

加齢黄斑変性

治療と予防最新マニュアル

尾花 明 (医昭58卒)

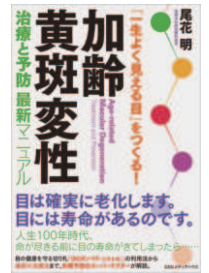
高齢者に失明をもたらす加齢黄斑変性(AMD)は近年増加中で、50歳以上の63人に1人以上が罹患し、一旦発症すると生涯向き合わねばならず、高齢者にとって負担の大きな眼疾患です。増加の主要因は寿命の延長ですが、AMDの発症には酸化ストレスによる網膜視細胞障害が関与するため、我々をとりまく光環境や食習慣、ライフスタイルが強く影響します。

本書はAMDの発症機序から導かれる予防と進行抑制法について、デジタル器機や照明器具の使い方、網膜の抗酸化力を増強させるための食事や望ましいライフスタイルについて詳しく解説しました。また、血管内皮増殖因子阻害剤治療や光線力学療法など最新治療についても筆者の臨床経験を基に記述しました。

人生100年時代と言われる現在、眼の寿命を延ばし、「一生よくみえる目」をつくるために若い頃から心がけるべきこと、中高年者が準備すべきことを一般向けにわかりやすく解説したものです。

(CCCメディアハウス、2021年12月、1400円+税)

筆者記



伊賀の人・松尾芭蕉

北村純一 (経昭46卒)

平成30年に小説集「芭蕉と其角」を上梓致しましたが、執筆に際し芭蕉の各種文献に当たる必要に迫られました。その折々に印象に残った点を書き留めるうち、小説とは別の形でまとめたという思いが強くなり、朝日新聞に「芭蕉の横顔」という題で60回連載する機会を得て、これをベースに加筆したのが本作品です。





芭蕉の神格化は間違いで、普通の人間として描くことが基本姿勢でした。芭蕉を貶めることは決してなく、むしろ真価を高めることになるからです。芭蕉は人並みに栄達を望む煩惱多き野心家だったのです。その偉大さはいかにその煩惱を捨て、聖人と称えられるまで自己陶冶したかにあります。

旅の多くを亡き父母の主たる年忌に合わせるなど、まるで江戸という出稼ぎ地から戻るように、故郷の伊賀に頻繁に帰っていました。俳諧活動の中心だった中京・関西圏にあつて、伊賀は地理的にその中心に位置するだけではなく、心の本拠であったことがわかります。江戸深川の芭蕉庵がクローズアップされがちですが、伊賀の人として俳諧人生を全うしたと表現されるべきなのです。新書という性格上わかりやすさを重視しましたので、気軽にお読みいただけたらと思います。

(文春新書、2022年1月、850円+税)

筆者記

河内つれづれ 散歩道

伏谷勝博(法昭37卒)

私は大阪府立中央図書館・館長、河内長野市助役などを歴任してきたが、河内長野市に生まれ育った生粋の河内人だ。人生80年を振り返る時、南河内は高度経済成長時代を中心に、随分と変貌した。しかし人間の生活は変わったが、これを取り巻く自然は昔のままに存在する。この本書は変わり行く南河内の姿を、思い出とともに綴っており、昭和時代の河内風土記的なものを残したいと考えた。

本書では河内長野市発足の頃や、南河内の偉人・楠木正成に因む史跡めぐりの思い出などを語り、「人生散歩道」の章では大阪府時代の思い出、季語「川床(ゆか)」への思い出、旧三商大及び関西法学部連合対抗討論会の思い出なども綴っている。

いささか個人的な内容が多く語られている部分もあるが、「河内の野面」、「河内つれづれ」、「河内の四季つれづれ」、「河内つれづれII」に続く最終章の意味もある。

(竹林館、2021年9月、1000円+税)

筆者記

虹の向こうには ——為さん・大作さんの言葉

小川秀幸(法平2卒)

ハンセン病患者に対する国の隔離政策の違憲性を問う裁判の原告勝訴判決をきっかけに始めた取材。それが結果的に20年を超えました。最初は取材テーマのひとつとして取りかかったものの、伝えるべきことが次々と出てきたのです。ハンセン病元患者と県庁担当官の絆、療養所入所者の里帰り、戦争と病気の関係、ハンセン病と家族…その都度追いかけて番組化してきましたが、彼らの思いを番組だけでなく、記録として文字として残したいという思いに駆られ、取り組



んだのが本書です。

これまでの取材をまとめるとともに、ハンセン病問題の基礎をわかりやすく記したつもりです。そして写真を多用したほか、番組でナレーションを担当頂いた俳優の常盤貴子さんも優しい文章を寄せてくれました。ぜひ手にとってみてください。

(皓星社、2021年10月、1800円+税)

著者記

近代大阪の福祉構造と展開

飯田直樹(文平5卒)

1912年、大阪の下寺町にあった愛染橋保育所に男児が捨てられていました。保育所の責任者であった冨田象吉は難波警察署長であった天野時三郎に相談したところ、天野は「棄児」として取り扱おうと「犯罪」を構成することになるため、戸籍に登録せず「無籍」のまま収容するように伝えました。

冨田は後に石井記念愛染園の専事として愛染橋病院設立に尽力した人物、天野は後に大阪市の福祉行政のトップである大阪府社会部長に就任する人物です。

本書はこうした人々の活動も視野に入れながら、1918年に大阪府が創設した方面委員制度という新しい福祉の仕組みについて検討したものです。この制度はすぐに全国に普及し、現在の民生委員制度へと発展していきますが、本書では警察が担った福祉と比較しながら、大阪の福祉史のなかにこの制度創設を位置づけようとしていました。ぜひ本書を通じて福祉や医療、保育に関わった先人たちの足跡に触れていただければと思います。

(部落問題研究所、2021年12月、税込み6600円)

筆者記



新型コロナ 発症した人しなかった人

栢孝文(工院平11卒)

2020年初から世界的に猛威を振った新型コロナウイルスは、我々の日常生活を一変させた。外出は原則禁止、出る時は揃ってマスク。リモート宴会という言葉もはやった。

著者は医療関係者ではない。コロナとはほど遠いと思われるIT関連企業の代表取締役を務めているが、開発したプログラムを新型コロナ対策に応用できないかを考え、仮に感染しても無症状の人がいることに着目。結果として健康と食品が大いに関係しているとの仮説を導き出した。新型コロナに発症する人としらない人を免疫学の観点からひも解き、発症リスクの高い食品も列挙している。日常生活において「食」を意識することで、新型コロナ禍を回避することができる、と訴える。

(幻冬舎、2022年5月、900円+税)

世瀬義久記(経昭53卒)



三輪山の神と古代ヤマト

木村博昭(経昭40卒)

著者は「神々の伝承シリーズ」として「古代ヤマト王権の縁起と伝承」、「古代出雲王国と神々の伝承」を発表しているが、「今作はシリーズの集大成として出版した。三輪山の神オオモノヌシとはニギハヤヒのことであり、ヤマト建国の祖神で、真の太陽神であることを認識してもらうために執筆した」と執筆の動機を語る。

古事記・日本書紀神話を徹底的に解体、結果として「記紀神話」は太陽神として知られるニギハヤヒの存在やヤマト建国の史実を隠蔽し、太陽を祀る巫女を天照大神に偽装し、歴史を改ざんした——と結論付ける。その裏には壬申の乱に勝利し、中央集権国家を作り上げようとした天武天皇の影が見て取れるという。しかし正史から消えたニギハヤヒの伝承は神社や一般庶民へと受け継がれている。熱心な古代史ファンにとっても新たな発見がありそう。

(批評社、2022年6月、1700円+税)
世瀬義久記(経昭53卒)



ネオ・ベーシック商法シリーズ

第1巻『商法入門／総則／商行為』

第2巻『会社法Ⅰ【ガバナンス編】』

第3巻『会社法Ⅱ【ファイナンス編】』



道野真弘(法平3卒)

ここで紹介する3巻本は、商法の初学者向けに書かれたものである。民法と比較して商法・会社法は社会人といえどもさほど意識しなくても日常生活に困ることはないだろうが、会社勤めの有無にかかわらず経済社会に関与する以上、要所要所で関係することはあり得る。そのような商法につき基礎から応用まで一気に学ぶことができる。

第1巻では民法と対比して商法とはなんぞやというそもそも論を丁寧に解説しつつ、商取引全般について、詳解する。平成29年民商法の大改正にも触れている。第2巻、第3巻は、企業組織法・企業取引法として商法分野の中でも重要度が高く、商法から独立した会社法に関する解説書である。広範囲にわたる会社法分野を2分冊、しかもガバナンス編とファイナンス編に分割したところは目新しい。ファイナンス編には税法、倒産処理法、保険法に関する記述もあり、近接分野への目配りもさ

れている。最新の改正にも対応している。実務で出会う個別案件ではなく、商法・会社法全体、「木を見ず森を見る」ためには最適の書と言えよう。

(北大路書房、各2500円+税)
編者記

中国の危機と世界

一強権国家・終わらないバブル・人民共和国崩壊

有賀敏之(大阪公立大学経済学部教授)

本書は経済学部で世界経済論を担当されている現役教授による、初の一般向けの著作である。

ウクライナ侵攻一色となっている現在の世界情勢であるが、中国は2021年秋の不動産危機以来の問題は何ら片付いておらず、上海の都市封鎖を経て第二波もたらされつつある。中国独自の「社会主義市場経済」については、単にソ連型社会主義と市場経済を折衷したものと考えがちであるが、そこには矛盾が内包されていることが理論的に示されている。さらに不動産バブル崩壊の表面化をきっかけとして進行する説得的なシナリオが、詳細に記されており、中国人留学生にとっても今後の身の振りの参考になることは請け合いである。

内容は、四部構成となっており、今日の中国を理解する上でのアウトラインとして用意された第一部、上記の社会主義市場経済固有のバブル経済のメカニズムについて経済学的に解明した、本書の中核をなす第二部という「起承」を受け、一転して中国史の総体を大掴みする法則性の抽出にまで踏み込んだ力業の第三部の「転」、そして人民共和国崩壊を見越した今後の展開に関する、「結」としての第四部からなる。

体裁の面でも、「です・ます」調の平易な文体や、用語解説欄を始めとして、さまざまな工夫が施されており、読みやすく仕上がっている。散りばめられた数々のキーワードが読者のイメージネーションを喚起し、硬い内容にも関わらず、読書の楽しみを満喫できる良書としてお奨めしたい。

(同文館出版刊、2022年6月、2100円+税)
安藤根八(創平30修)





瘀血をとって若返る!

石井正光(医昭48卒)

身体の70%を占める「水」は血液やリンパ液として、さらに細胞と細胞の間質組織液という体液として、体内をサラサラ流れ続けています。この「水」の流れがあるからこそ、血液が順調に流れて、栄養や酸素を身体の隅々の細胞にまで届け、同時に老廃物を回収して体内の汚染を食い止めることができているのです。

一方、東洋医学の分野では古来2000年にわたり、難病の背景には血液の滞り、すなわち瘀血(おけつ)が存在すると言われ続けています。瘀血の原因は特に静脈血のうっ滞と言われていますが、はっきりしませんでした。私は「水」の流れが滞ったり汚れてしまうことこそ瘀血の本質と気づきました。

本書では瘀血における「水」の流れの異常について示し、「水」の順調な流れを取り戻すための瘀血対策を紹介させていただきます。皆様の健康な肌を作り出すばかりでなく、全身の健康の向上と若返り、長寿に結びつく提案となるはずです。

(さくら舎、2021年8月、1500円+税)

著者記



現場のプロがやさしく書いた 自治体の滞納整理術

岡元謙史(生平18卒)

私は「人の役に立ちたい」と思い自治体職員になりましたが、初めて配属された部署で「滞納金を徴収せよ」と命じられた時の戸惑いや悩み、葛藤は今でも鮮明に覚えています。公務員試験に合格した秋から、実際に働き始める春までの間に思い描いていた「感謝する市民と、役に立つ私」の姿はそこにはなく、代わりにいたのは「罵詈雑言を浴びせる市民と、心が折れる私」でした。

本書は当時の私と同じように、不安で先が見えない暗闇の中にいる滞納整理担当者をやさしく照らす光になれば、と祈るような気持ちで書きましたが、「お金に困っている人から滞納金を徴収する」というストレスフルな状況下でのコミュニケーション術や心の整理の仕方などは徴収職員・自治体職員でない一般の方にも一定、お役に立つのではないかと自負しています。

なお本書の印税は、すべて寝屋川市のために使わせていただきます。本書が皆さんや寝屋川市の成長に寄与できれば望外の喜びです。

(学陽書房、2021年5月、2100円+税)

著者記



掲載広告一覧

(株)Cominix	表2
小野薬品工業(株)	表2
(株)駒井ハルテック	P14
BizPEN	P20
一般社団法人大阪女子大学同窓会斐文会結婚相談室	P21
サンクリエイテム工業(株)	P25
ツカキグループ	P26
(株)杉村倉庫	P26
税理士法人 西野会計事務所	P27
澄住サポート(株)	P27
医療法人福寿会	P29
山口法律会計事務所	P30
ニシムラ(株)	P30
(株)iTest	P31
三重交通グループホールディングス(株)	P31
弁護士法人 中央総合法律事務所	P33
(株)京都銀行	P34
森下会計事務所	P37
東亜建設工業(株)	P37
大小路法律事務所	P39
大陽日酸(株)	P39
オリエンタル白石(株)	P39
(株)ダイセル	P41
すばるスチール(株)	P41
(株)日本プリンティング	P41
(株)アシックス	表3
(株)阪急交通社	表3
阪和興業(株)	表4

会報広告料金表 (消費税込み)

全ページ W181×H260(単位:mm)	
記事中(カラー)	180,000円
表4(カラー)	230,000円
表2(カラー)	220,000円
表3(カラー)	200,000円
半ページ W181×H130(単位:mm)	
記事中(カラー)	90,000円
1/4ページ W181×H68・W86×H130(単位:mm)	
記事中(カラー)	50,000円
1/8ページ W86×H68(単位:mm)	
記事中(カラー)	25,000円

※本件についてのお問い合わせ

大阪市立大学同窓会 会報誌編集委員会 広告担当: 吉原(商昭49卒)
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
Tel:06-6605-2113 Fax:06-6605-2088

追悼のことば

追悼 故木村元三さんを偲ぶ ―その業績を辿って

田仲勇一郎(経昭46卒)



令和4年1月4日午前6時に、木村元三氏(以下、元三氏)が入居中の「エレガノ甲南」の看護師から「つい10分前、午前5時50分に息を引き取られました」と連絡があった。享年99歳、葬儀の導師には、ご遺言通り大阪商科大学恩師・谷口知平教授の教え子の会「八星会」後輩、東光院菖の寺(阪急曽根)、村山廣甫住職をお願いし、1月6日に葬儀を

執り行い本人の遺言に従い私が喪主を務めた。

元三氏は、大阪商科大学予科時代、歴史教師山根徳太郎先生と「歴史研究会」を通じて卒業後も師弟関係は続き、その「歴史研究会」の流れを汲む有史会会員という縁で、私は元三氏から「死に水を取ってくれ!」と頼まれた次第。

元三氏との出会いは、私が大学3回生で有史会会長を務めていた昭和44年、クラブ顧問山根徳太郎先生が難波宮跡発掘をもとにした『難波王朝』(学生社)出版記念会を開催するに当たり、歴史研究会・史泉会幹事だった水谷恭三氏と元三氏から、会合の幹事役を引き受けてくれとの連絡を受け、幹事を引き受けたのが縁の始まりで、卒業後もお二人が亡くなるまで、たとえ海外からでも毎年、近況報告を兼ねて年賀状を送っていた。

最後の海外勤務から帰国し大阪勤務となった平成11年、元三氏から待ち構えられていたように呼び出され、私に『山根先生を偲ぶ会』幹事を先輩の高井皓さんから引き継ぐように頼まれ、平成12年度から「偲ぶ会」の幹事を引受けた。平成18年には木村夫妻が老人ホーム「エレガノ甲南」に移られる際、私は元三氏から「身元引受人」になってくれと頼まれたので快諾した。本年(令和4年)度は、山根先生50回忌、元三氏満百歳を祝おう!と皆で楽しみにしていた矢先だった。

元三氏の業績をまとめると次の通りとなる。

- (1) 1982年 和泉市久保惣記念美術館から館蔵和漢鏡の手拓を頼まれた。
(1984年、『館蔵拓影』をMuseum of Fine Arts Boston・Freer Gallery of Artへの寄贈)
- (2) 1986年4月 恩師谷口知平先生の傘寿に因んで『谷口知平先生傘寿記念文集』発行
編集発行:八星会 編集委員長:北川三晴
編集委員長代行:木村元三

- (3) 2000年 平凡社出版『白川静著作集第12巻(月報)』に白川先生との出会いを寄稿
- (4) 2002年 『あゝ戦没学友』出版
編集委員:木村元三
(「学徒出陣戦没者慰霊碑建立の会発起人」の一人として)
- (5) 『大阪人』2007年7月号 連載「大阪ことばを語り継ぐ」第76回としてインタビュー(タイトル「学ぶことの楽しさを教えてくれた知の恩人たちのこと」)
- (6) 2010年 『廣場』(全国寮歌祭プログラムより)
上下巻の出版発行者:木村元三

元三氏は60歳で定年してから12年間、神戸家庭裁判所の調停委員をさせていただきに最期まで記憶力はしっかりされていた。「田仲はんにも世話になった。血も繋がらんのに。ただ先輩後輩というだけで!」と私の前でよく手を擦りあわせて合掌してくれました。シンガポール人から教えてもらった『一日為師、終生為父』。私はいつも元三氏に“こういう私に育ててくれたんだから”と感謝した。

生前の遺言に従って書籍文物の全てを私の自宅に引取り整理し特に、山根徳太郎先生、白川静先生から戴いた書簡の束は、大阪市大大学史資料館、立命館大学へ寄贈する予定。元三氏祖父の著作生原稿、藤沢南岳先生らの掛軸などは、元三氏ご存命中に既に関西大学の泊園記念会に収めている。

最期になりました、木村さん!安らかに眠ってください。どうか彼岸で、奥様とご一緒に極楽の蓮華の上で、未永くお過ごしくださいませ。





謹んでご冥福をお祈りいたします(敬称略)

物故者氏名	学部卒年	逝去月日	物故者氏名	学部卒年	逝去月日
木村 元三	学昭19	令和04年01月04日	八田 浩志	経昭35	令和04年
矢頃 恒三	医昭19	平成20年11月14日	三善 輝夫	医昭35	令和03年03月12日
竹内 三郎	学昭21	令和01年06月26日	中尾 純一	医昭35	令和03年09月05日
野崎 榮	学昭22	令和01年06月26日	菅原 正博	経修昭36	令和04年02月12日
田中 孝治	学昭22	令和03年10月01日	尾崎 達朗	医昭37	令和03年05月22日
伊藤 卯三郎	学昭22	令和04年03月31日	若林 亘	医昭37	令和03年07月30日
中西 孝一	高昭23	令和03年07月	田中 成昭	医昭37	令和03年11月09日
松尾 安昭	高昭23	令和03年10月21日	石田 洋	商昭38	令和02年07月
中村 滋男	医昭24	令和02年10月06日	金正 道也	商昭38	令和03年08月08日
伊藤 成幸	医昭24	令和03年05月02日	吉本 伸彦	商昭38	令和04年01月05日
野村 睦人	学昭26	令和04年01月17日	北川 恵一	商Ⅱ昭38	令和04年01月07日
林 和彦	高昭26	令和04年07月18日	高本 晃弘	経昭39	令和04年04月13日
徳永 雄一郎	経昭28	令和02年11月17日	清水 澄	文修昭39	令和02年11月06日
重本 裕	医昭28	平成28年	原田 善弘	医昭39	令和01年06月
武曾 忠	医昭28	平成31年01月02日	藤井 弘一	医昭39	令和03年03月01日
石黒 直文	経昭29	令和04年08月14日	岡本 圭司	医昭39	令和03年05月09日
木下 博	医昭29	令和02年08月29日	園田 昌昭	商Ⅱ昭40	令和03年11月16日
前田 泰生	医昭29	令和04年03月29日	島田 巖夫	経昭40	
大川 厚	経昭30	令和03年05月02日	橋本 雄二	法昭40	令和03年
津熊 和夫	医昭30	令和02年11月30日	下峠 雅史	医昭40	令和03年04月28日
盛岡 清孝	医昭30	令和03年05月31日	南 弘之	経昭41	令和02年07月
矢橋 弘嗣	医昭30	令和04年01月22日	佐野 嘉則	医昭41	令和03年06月16日
廣島 義勉	医昭31	令和03年05月12日	米満 隼臣	医昭43	令和03年05月11日
上道 知三	医昭31	令和03年11月25日	吉田 潔	法昭44	令和03年11月
朝倉 重道	商昭32	平成29年	門口 武史	商昭45	令和03年10月12日
国島 道夫	商Ⅱ昭32	令和03年11月30日	森口 久子	医昭45	令和03年03月23日
高橋 孝三	経昭32	令和03年09月20日	小倉 孝之	医昭45	令和03年10月
藤井 勲	経昭32	令和03年11月23日	森園 明	経昭46	
岡本 和也	経昭32	令和03年11月26日	越川 亮	医昭47	令和03年05月14日
矢野 高安	経昭32	令和04年01月01日	川浦 憲一	経昭48	令和03年07月31日
川勝 弘一	経昭32	令和04年04月05日	安宅 壽昭	法昭48	令和04年02月21日
池田 久男	商Ⅱ昭33	令和03年11月09日	小森 信宜	経昭53	令和03年07月05日
吉田 幸雄	商昭33	令和04年03月04日	森口 英世	医昭53	令和04年05月03日
村上 勇	経昭33	令和04年01月	福中 実	商昭54	
笠間 重武	法昭33	令和04年02月12日	中 裕城	経昭55	平成03年06月22日
山崎 暉夫	文昭33	令和03年09月23日	都留崎 豊	経昭56	
榎屋 義雄	医昭33	令和04年01月10日	轟 昌一郎	法昭57	令和04年01月09日
下村 藩	経昭34	令和04年05月22日	斯波 辰夫	文修昭57	令和01年09月
美馬 卓示	法昭34	令和04年04月07日	石川 潔	商昭59	令和03年06月11日
横田 康徳	文昭34	令和04年02月28日	大友 昌文	文Ⅱ昭60	令和04年03月
大賀 一白	商昭35	令和03年07月19日	上野 憲司	医昭60	令和04年05月10日
竹葉 健	経昭35	令和02年12月	脇 昌之	医平06	令和03年06月26日



事務局からのお知らせ

これからの行事予定

- 第7回日中大学学生文化交流展
令和4年11月4日(金)～6日(日)／田中記念館1階ホワイエ
- ホームカミングデー(杉本キャンパス)
令和4年11月5日(土)
- 悠々忌
令和4年12月9日(金)11:00
近鉄南大阪線北田辺駅 開高健文学碑前
- 支部代表者会議
令和5年3月 ※詳細未定

各同窓会総会等

- 理学部同窓会総会
令和5年11月5日(土)
- 工学部同窓会評議員会
令和5年2月 ※詳細未定、HPにてご確認ください
- 看護系同窓会よつば会講演会
講師：川野泰周先生
令和5年2月4日(土)14:00～／看護学部学舎5階多目的ホール

各支部総会 ※詳細はHPにてご確認ください。

- 北海道支部総会 令和4年10月1日(土)

- 奈良支部総会 令和4年10月10日(月・祝)
- 東京有恒会総会 令和4年10月15日(土)
- 大阪南支部総会 令和4年10月29日(土)
- 南大阪支部総会 令和4年11月5日(土)
- 北摂支部総会 令和4年11月13日(日)

その他

- 談話室に建部好治氏(経昭28卒)の御寄付により令和4年春に「建部文庫」が設置されました。「建部文庫」図書選定委員会(OBOG及び教員計10名による委員会)が令和4年10月に発足、寄付金配当を原資に五代友厚及び開高健関連本を中心に充実させていきます。
- 商友会総会
令和4年11月12日(土)14:00～／都シティ大阪天王寺

法学部創設70周年・公立大学法学部開設記念シンポジウム開催

法学部は大阪市立大学法学部創設70周年および大阪公立大学法学部開設を記念するシンポジウムを以下の要領で開催いたします。皆様のご参加をお待ちしています。

日時：令和5年4月22日(土)14時～

場所：大阪公立大学・杉本キャンパス1号館講堂

テーマ：大学と法学部の現状と未来

なお詳細は随時、ウェブサイト(<https://www.omu.ac.jp/law/>)で

公開します。

大阪公立大学法学部・法学研究科70周年記念行事準備委員会

会報「有恒」投稿規定

1. 投稿の種類等 原稿には、執筆者の氏名・学部・卒業年次、住所を明記して投稿をお願いします。

種類	説明やお願い等	字数
1 論壇・随想	「表題」は付けて下さい。(関連及び顔写真)	1,200字以内
2 同窓短信	近況や思い出など。(顔写真)	400字以内
3 支部だより	支部関係の活動や諸行事。(関連写真)	400字以内
4 会員の広場	同期会、ゼミ研究科OBOG会、クラブOBOG会、同好会等の諸行事。(関連写真)	400字以内
5 図書紹介	原則、会員および大学関係者に限ります。紹介する図書1部のご提供をお願いします。	300字以内
6 追悼のこぼ	故人の思い出など。(故人の顔写真)	400字以内
7 読者の声	読者のご意見・提言等。(顔写真)	400字以内
8 読者の作品	絵画・写真・書・俳句・アート等。作品紹介は100字以内にて。	

※「図書紹介」を除き、原稿には原則として写真の添付をお願いします。

2. 原稿と写真等の採否および加筆・修正・削除など

- (1)原稿および写真等は、編集委員会に一任をお願いします。
- (2)原稿の字数は厳守をお願いします。オーバーした場合は、削除する場合があります。なお、支部だより、会員のひろばへの投稿はHPにて全文掲載します。

3. 原稿の作成、提供と掲載について

- (1)原稿及び写真は出来る限りメールにてお願いします。写真ファイル(.jpg)をメール添付にて送信してください。
- (2)個人情報保護のため、詳細な住所は同窓会報誌に掲載しません。
- (3)参加者(「支部だより」と「会員の広場」)の「氏名・学部・卒業年次」はスペースの関係で同窓会報誌には代表者のみ掲載し、全員の情報はHPにて掲載します。

4. 次号原稿の締め切り

4月発行・・・1月末日締め切り

5. 投稿方法と投稿先

- (1)メールアドレス
kaiho-b@ado.osaka-cu.ac.jp (会報誌専用)
kaiho-b@osaka-cu.net (移行予定)
- (2)郵便
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
大阪公立大学内 田中記念館3階
大阪市立大学同窓会 会報誌編集委員会宛

編集委員 (〇印編集責任者)

奥山正昭 (経昭44卒)	曾我部健 (理昭45卒)	吉原純一 (商昭49卒)	藤山純一 (法昭51卒)	世瀬義久 (経昭53卒)	中村祐子 (文平27卒)
〇小林俊介 (法昭44卒)	山本 孝 (工昭45卒)	竹中敏実 (経昭49卒)	亀梨祐司 (商昭52卒)	村上芳子 (商昭58卒)	安藤根八 (創院平30修)
田中祐尾 (医昭44卒)	野田忠男 (工昭45卒)	谷口美樹子 (生昭50卒)	上村修三 (商昭53卒)	辻野美由紀 (看院平22修)	

編集後記

大阪公立大学が4月に開校し、対面の授業も復活されてきています。コロナ禍は未だ予断を許されませんが、ウィズコロナで社会活動を維持するとともに、倍の規模になった新大学のブランド力アップに「有恒」もその一助を担うものと考えます。なお、市大全

学同窓会の業務縮小に伴い、今号より有恒会が発行主体を担うこととなりますが、編集範囲につきましては徐々に公大全般にわたる記事を掲載することを編集方針としていますので、各同窓会の積極的なご支援・ご協力を賜りますよう宜しくお願い致します。(編集人)

M
E
T
A
S
P
E
E
D™
+

自己ベストを目指すためのシューズがさらに進化。
ストライド型とピッチ型それぞれの
走法に合ったシューズを選ぶことで
高いレベルでパフォーマンスを引き出す。
ASICS史上最速を選択せよ。



METASPEED™ EDGE+

METASPEED™ SKY+

勝ち方は、ひとつだけか。
Find Your Speed.

カラダを動かす。ココロが羽ばたく。
#LiveUplifted



さあ、

日本を、世界を旅しよう



阪急交通社グループの多彩なサービス

国内旅行	海外旅行	団体旅行	物品販売	個人旅行
ビジネス渡航	地域振興	訪日旅行	送迎サービス	教育旅行



お問い合わせ

【東日本地区】
●海外 ☎0570-08-8689
●国内 ☎0570-03-8689

【中部日本地区】
●海外 ☎0570-06-8939
●国内 ☎0570-05-8939

【西日本地区】
●海外 ☎0570-03-9898
●国内 ☎0570-01-1789

【九州地区】
●海外 ☎0570-08-9052
●国内 ☎0570-08-9007

阪急交通社は阪急阪神東宝グループの一員です



Run up to HANWA 2030
～いまを超える未知への挑戦～



阪和興業株式会社